新年宴會
京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社
編輯兼發行人 印刷人

英機十五を撃墜

【ベルリン三日同盟】獨軍筋の情報によれば三日午後英空軍は戰爆連合をもつてフランス西部沿岸を空襲したが獨フォッケウルフ戰鬪機隊は直ちに邀撃、猛烈な空中戰ののち英機十五台を撃墜したといはれる

海鷲、南北に敵の反[攻]撃退

來襲敵機十二を撃墜

メラウケ(ニューギニヤ)も初空襲

大本營發表(昭和十八年一月四日十四時)一、ニューギニヤ島方面帝國海軍航空部隊は舊臘三十日、三十一日兩日にわたり同島南部メラウケを攻撃し建設中の敵航空基地を破壞しその使用を不能ならしめたり

二、ニューブリテン島、ソロモン群島方面所在部隊は舊臘三十一日以來一月二日までにムンダ、ラヴウル、スルミ方面に執拗に來襲せる敵機延數五十數機を撃退せり、特に一月二日ムンダに來襲せる敵機は三十數機にしてわが地上砲火によりその六機(うち不確實二機)を撃墜せり

三、鳴神島方面帝國海軍航空部隊は舊臘三十日より一月一日にわたり來襲せる敵機と交戰し敵戰鬪機五機を撃墜せり、なほ所在部隊は地上砲火により敵B25一機を撃墜せり

【リスボン四日同盟】メルボルン來電=西南太平洋反樞軸軍司令部は日本軍航空部隊が卅一日敵領ニューギニヤ南岸のメラウケ港を爆撃した旨發表した

メラウケ メラウケはニューギニヤ島南岸、蘭領ニューギニヤと英領ニューギニヤとの境界附近にあり、敵はポートモレスビーとともにこゝを反攻航空基地たらしめようとしてゐた、スルミはニューブリテン島西南部に位置し、さきにわが海軍部隊の占領したガスマタはその附近にある

敵の反攻愈よ熾烈

偲べ前線將兵の勞苦

【東京電話】アメリカは一九四三年の對日總反攻を呼號して南に北に執拗なる航空作戰に出てゐるが、わが南方ならびに北方第一線の攻守兩面の陣へは儼として續くこれを隨所に撃退しつゝある、すなはち四日の大本營發表は帝國海軍航空部隊のニューギニヤ島南部メラウケ初空襲、ニューブリテン島、ソロモン群島方面來襲敵機の撃退、鳴神島方面帝國海軍航空部隊の活躍を昭和十八年新春のお年玉として報ずるとゝもに、敵アメリカの反攻が航空作戰より航空作戰へその様相を曝露し來つたことを明らかにした、年末から年始にかけて展開された熾烈なる戰鬪の日誌を繙いて見る—

一、ニューギニヤ島方面 敵は舊臘來秘かにニューギニヤ島南部、木曜島對岸西方に對日反撃基地たらしむべく航空基地を建設中であつたが、逸早くこれを察知せるニューギニヤ島方面帝國海軍航空部隊は舊臘卅、卅一日兩日再度これを急襲、巨彈の雨を降らせてこれを破壞、その使用を不可能ならしめた

二、ソロモン群島、ニューブリテン島方面 わが同方面の要衝ラバウル、ムンダ、スルミ方面への敵機來襲は舊臘來連日執拗に繰返され、卅一日以來一月二日まで三日間に來襲せる敵機は延數五十數機に達し、わがニューブリテン島、ソロモン群島方面所在部隊はその都度これを撃退しつゝある、特に一月二日未明ムンダに對し敵はB25六機、戰爆六機、戰鬪機六機、計十八機からなる大編隊をもつて來襲、わが地上砲火は直ちに砲門を開き戰爆一機、戰鬪機一機(不確實)を撃墜してこれを撃退したが、同日午後敵は執拗にもB25六機、戰爆四機、戰鬪機四機、計十四機からなる編隊をもつて來襲、わが地上砲火は再び猛火を吐き忽ち戰爆二機(うち不確實一機)B39戰鬪機二機を撃墜、敵はまたも敗退の已むなきに至つた

三、アリューシャン方面、鳴神島方面 帝國海軍航空部隊は酷寒風雪を冒して舊臘卅日より一月一日にわたり來襲の敵戰鬪機と激烈な空中戰を演じ、卅日三機、一日二機を撃墜、所在部隊は卅一日地上砲火によりB25一機を撃墜した

しかしてアリューシャン方面のわが基地に對する敵機の來襲は昨年十一月一日より十二月廿九日までの二ケ月間に實に二十五回延數九十九機に達しわが方はその都度これを撃退してゐるが、これを見ても如何に敵の反攻が執拗であるかゞ窺はれ、それと同時に北洋の孤島に酷寒風雪を冒し敢然たる護りを續けつゝある皇軍將兵の勞苦は察するに餘りあるものがある

わが本土を距る北は二千餘浬、南は四千餘浬の第一線はかくの如く攻守ともに敵守不動一をもつて十に當る旺盛なる戰意に燃え、戰へば必ず勝つとはいへ、敵アメリカの航空機による反攻はいよく熾烈執拗にしてこれら敵の意圖を粉碎封殺するため國内また航空戰力强化に邁進せねばならぬ、南方ソロモン、ニューギニヤあるひは北方アリューシャン方面の皇軍には年末もまた年始もなく、その勞苦は言語に絶し、特にガダルカナル島上陸部隊の如き海水を飲んで飢を凌いで戰つてゐることをこの際深く銘記し、赫々たる戰果を擧げつゝある武力戰に呼應して生產戰、補給戰にもあくまでも勝ち拔かねばならぬ

坪上大使歸朝、青木大東亞相と會見=東京電送

民間の饗應は拒絶

初の臨時局長會議席上 吏道刷新の申合

決戰第二年の新春劈頭に當り總督府初の臨時局長會議は御用始式につゞき四日午前十一時半から本府第三會議室で開會、各局長より所管事項に關し左の如く報告後、小磯總督は再び御用始式における初訓示の意味を强調して言葉よりも今後實踐への決意を促し午後一時散會した、各局長の報告内容は次の通り

◇石田遞信局長 歳末の國債配布額は千三百萬圓であつたが、十二月廿八日までに千三百五萬九千五百圓を賣盡した、なほ本年度中の國債の配布總額は三千七百萬圓であるが、十二月まで三千百二十七萬五千九百七十圓を消化、殘額は二月中に消化する豫定である、郵便貯金は十二月廿八日を以て二億五十五萬圓となり待望の二億圓を突破した、朝鮮の郵便貯金は明治十三年釜山に日本郵便局開始以來取扱つてゐるが、創始來六十年を經て昭和十四年八月一億圓となつたが、その後僅か三年四ケ月にして二億圓を突破したことになる

◇兵頭企畫室長 昭和十八年度の增員及び物動計畫は昨年度より減ぜられるが、從來の維持保守に重點を置くことにならう

◇信原殖産局勅任事務官 今後朝鮮では無煙炭を燃料とする小型溶鑛爐を增設、銑鋼增産に邁進する、なほ石油專賣制は内地と同一步調をとり、目下所要豫算を要求中である

なほ上瀧殖産局長より過般の電力統制の閣議決定までの經緯について、宮本法務局長より内地における半島人の戸籍調査について報告があつた

小磯總督 年頭第一回の局長會議に際し、本年はさきほど御用始式で述べた訓示に基き一層邁進されたい、本訓示は自分が六月就任以來闡明せる意圖を各局に於て如何に具體化するかの意見を昨年七月中提出せしめたが、それ等の意見は大方本訓示中に盛られてゐる、本訓示に對し自分の最も希望する所は訓示の實踐である、時局の重大に鑑み眞に實踐に邁進されたい

なほ席上西井人事課長の發言で次の如き申合せを行ひ、吏道刷新への垂範をなしたことは時局柄注目される

申合事項 本府並に所屬官署の官吏は今後民間よりの饗應を受けざること

立煌縣城を完全占領

【大別山○○前線四日同盟】舊臘以來敵第五戰區の戰力を撃碎すべく敵第廿一集團軍の本據目ざし猛進撃をつゞけてゐたわが精鋭○○部隊は、二日午後五時卅五分廿一集團軍々司令部所在地立煌縣城を完全に占領し朔風吹き卷く城頭高く日章旗を翻した

重慶、雲南地區に新戰區

【廣東四日同盟】當地に達した情報によれば重慶軍事當局は舊臘重慶に緊急國防最高會議を開催、雲南方面における重慶軍の擴充配備に關し重要決定を行つたと傳へられる、すなはち右會議の結果、四川省南部および雲南省を含む一帶の地區に新戰區を設置しこれに約三十個師の重慶軍を配屬せしめ陳誠あるひは關麟徵を同戰區司令に任命することに決定したといはれる、右は重慶が英印軍と呼應してビルマ奪回の妄想を依然として描いてゐる證左で、將軍の配備狀況から見て蔣介石がこの機を逸せず龍雲麾下の雲南軍を一掃せんとする一石二鳥策であることは明白で蔣介石多年の懸案であつた雲南中央化工作がいよく露骨化して來たものと見るべきである

憲兵司令官更迭

後任に加藤泊治郎少將

【東京電話】憲兵司令官中村明人中將は今回現地某要職に轉出、後任として加藤泊治郎少將が補され四日左の如く發表された

陸軍省發表(一月四日)本日左の通り發令せられたり

陸軍少將 加藤泊治郎

補憲兵司令官 陸軍少將 加藤泊治郎

加藤少將略歷 新憲兵司令官加藤泊治郎少將は山口縣出身、陸士、陸大卒業、關東軍憲兵隊長、東京憲兵隊長、朝鮮憲兵隊司令官、憲兵司令部本部長などを經て關東軍憲兵隊司令官となり今日に至る

日泰關係は磐石

ピブン首相も自ら陣頭指揮 入京の坪上大使語る

【東京電話】舊臘歸國した芳澤駐佛印大使と相前後して大東亞省と事務打合せのためバンコックを出發した駐泰大使坪上貞二氏は五日午後三時廿五分東京驛着の特急『富士』で入京、直に大東亞省に青木大東亞相を訪れ歸朝の挨拶をなしたのち約三十分にわたり懇談ついで記者團と會見、泰國の近況について次のごとく語つた

日泰關係については泰國は日本と一蓮托生といふ徹底した狀態にあり、ピブン首相以下その體制をさらに一層强化する決意に燃えてゐる、舊臘廿一日の日泰同盟一周年記念日における佛教國『泰』として最高の儀式にも見られるごとく泰國は同盟條約を完全に神聖視して石の安きにあると確信する、最近の泰國で一番目につくのはラタニユムといふ愛國運動であり『一つの國家泰國』『一つの指導者ピブン』『一つの目的勝利』といふ國家的スローガンのもとに全國が一丸となりつゝある、ことに

男女青少年の訓育には非常な熱意を示してをり、亞細亞の解放、米英思想の排撃を目標とした戰時意識の昂揚は見るべきものがある、昨秋の水害の影響は相當酷かつた、しかしそれにもかゝはらずこの困難を甘受してあくまで戰爭協力を實行せんとしつゝあるのはわれくとしても感激に堪へない、泰國内の食糧は先づ大丈夫で洪水でも食ふに困るといふことはない、貿易は出來ぬが日常生活には困つてゐない、また困らぬやうにピブン首相がいはゆる陣頭指揮をやつてゐる

中央銀行も機能を發揮し出してゐる、從來泰國では華僑の送金とか借款の利子拂ひとかで金がみな海外に出てゐたのだがいまではこれが逆になつてゐる、華僑も今ではすつかり轉向してゐる、これら華僑を泰國の國民としてさらに積極的に協力させるやうピブン首相もわれわれも努力してゐる、とにかく泰國に關してはピブン政府ががつちりと固めてゐるからピブン政府强化一本槍以外に政策はない

決戰時局を打診する ④

新春對談 語る人 末弘嚴太郎氏

末弘嚴太郎博士 山口縣出身、明治廿一年生 明治四十五年東大獨法科卒業、同時に同大學助教授次いで教授に任ず、法學博士、著書多數有り、現在法學部長、大日本學徒體育振興會その他體育團體に關係す

來間 先生は東大やスポーツの關係で學生と一般の青年にも特別な接觸をお持ちですが、今の若い人たちの時局認識をどういふ風に見られますか、自由主義、功利主義の思潮の中で育つてきた中年の者に比べると今の青年は概して非常によいやうですね、食物や衣服が惡くても不平はいはない、兵隊にいつて死ぬることも別に恐れない、心から身をもつて時局の核心を呑み込んでゐるとでもいひますか、かういふ青年たちが將來の日本、大東亞を背負つて立つ日を思ふと明るい氣持になりますが

體力が不足

末弘 毎日學生をみてゐますが、今の學生は非常によくなつてをります、卒業してからは無論だが在學中に應召入營する者も續々ある、それらが挨拶にくる時の態度でも心構へでも見事なものです、その點は全く心配は要りませんよ、この間も戸山學校へこゝの學生が六千人ばかり揃つて見學に行つたとき、那須の野副少將が『以前には大學の卒業生は軍隊の幹部には不適當だといふことになつてゐたが、近ごろでは大學卒業生がすつかり變つて非常によくなつた、精神力でも兵を指揮する能力でもなかく優秀だ、たゞ惜しいのは體力が足りない、なるべく在學中に體力を鍛成してほしい』といつてをられた、その點は私もかねて痛感してゐたので去る六月から東大の鍛錬部長、昔の運動部長を引受けて何とか全學の學生の身體をよくしてやらうと教練の方と連絡を取つて努力してゐます

來間 僕らの學生時代とはまるで違ひましたね

大學と軍隊

末弘 すつかり變りました、面白いのは陸戰です、海軍の少年航空兵がやる陸戰、あれと同じ種類の陸戰をこゝの學生にやらせる計畫でまづ學生の中から指導者を養成しその指導で毎日各學部でやらせてゐます、まだ全學的に擴がる所まで行きませんが毎日正午から廿分間ほど、この寒でも上衣からシャツまで脱いで盛んにやつてゐます、終りに臍に手を當てゝ瞑目しながら『水漬く屍』の歌を齊唱するんですが、これをみてゐると實に崇高な氣分になります、今までの體育は體育でなくてスポーツでした、スポーツも一生懸命に勝負を爭ふ所によい所があるが選手だけの運動になる、それで高等學校から大學にかけて本當の意味の體育といふものはなかつた、これから體育が普及されて學生全部が進んで眞面目にやることになると體育といふものが出來ることになる、今の時代には身體のがつちりした神經の太い人間を作り上げることが必要ですからこの大學でも體力鍛錬に力を入れようといふわけです、しかし大學だけでは駄目です、高等學校で自墮落な生活をしてゐては肉體的にも精神的にもよくないから昨今文部省と話合つて高等學校から體育をしつかりやつて貰ふことにしようとしてゐます、大學の鍛錬をみると一年生が一番まづい、

神經の太い人間へ

青年指導は體錬から

二年、三年と上になるほど眞面目でうまい、之は三年の者はすぐ軍隊へ行かねばならぬから眞面目になるといふこともあるだらうが、高等學校の鍛錬が十分でないためでもあらう

來間 朝鮮でも一般に運動がなかく盛んになつてゐるやうです

半島と體育

末弘 さうく、朝鮮總督府はいろく體育を[illegible]勵してゐられるやうですね、殊に半島人の學徒諸君がマラソンに勝つたといふやうなことは非常に結構なことだと思ふ、内地人と半島人の對抗意識といふ點から心配する人もあるやうだが、私は寧ろさういふ方面で半島人の誇りとか生甲斐を感じさせるのは大きな眼から見てよいことぢやないか、鄕土愛とか同胞相親しむのは人間自然の情だから、そこらは大きく呑み込んで朝鮮の體育を發展させるやうに總督府はやつてゐられるのでせう

來間 問題は變りますが、南方共榮圏の方へ大ぶん多ぜい文官の司政官が行かれますが、とかく今まで日本の官吏は滿洲あたりへ行つても直ぐ法律をこしらへたがる癖があるやうに思ひますが南方ではうまく行くでせうか

末弘 それはありますよ、この間も南方へ赴任する役人が大ていみな六法全書を持つて行くといふことを聞いたのですが、あれは困つたものです、[illegible]慣、民度のまるで違ふところへ日本の法律思想を當てはめることなんか出來はしません、もつと根本的にも現在の法學そのものが大いに檢討を必要とする時代になつてゐるのです、この學校でも現に學科の改正問題を議してゐますが、私は要するに在來の解釋法學といふものは既に使命を終つたと思つてゐる、之から大東亞共榮圏を作り上げてゆくには古い法律思想を離れてもつと廣く古今東西の法律政治に關する知識を深めると同時に南方諸民族の實相を充分に研究して、そして高い見識で全く新しい法律文化を創り出すといふ考へで行かなくてはいけないと思ふ

來間 文官試驗では半島人の合格者がなかく多いですね

青年と學問

末弘 司法官試驗の方が特に多いですよ、今年などは七十人くらゐ通りました、半島人は形式論理を扱ふ法律理論は得意のやうです、成績もよい、しかし現在の内地人も半島人も考へ直す必要がありはしないか、法律などよりは理工科方面の人を時代がより多く要求してゐる、とかく法律經濟の學校は安上がりに出來るものだから殖える傾きがあるけれども、もつと國家の要求と、國民それ自身の職業といふ二點から考へて、教育を指導する方で小學校の時からなるべく生徒を理工科方面へ進ませるやうに導くのがよいと思ふ、半島の優秀な青年が法律理論が好きだからといつて續々東京へ出て來て法律を習ふといふ傾向は根本的に再檢討を要する、僕の家の子供もみんな法律經濟はやめて理科の方をやつてゐる

來間 それではお家の何代かの家學が絶えるわけですね

末弘 少數の優れた法律經濟學者があることは絶對に必要だが、今のやうに皆人々の漠然たる好みで、しかも法律學校は入り易いといふので無暗に多くの法律學生が出來るやうな有樣ではいけないと思ふ

來間 先生の『法學雜話』といふ本の中で勞働青年の問に答へて、工場をやめて法律の夜學生になることを戒め立派な勞働者又は技術家になれと勸めてゐられる一文がありますね

末弘 近頃の少年工も眞面目なのが多いですよ、いつか不良狩をやつたら少年工が多かつたといふことがありましたが、それはほんの一部の者です、大多數は非常に好い精神狀態になつてゐます、ところが中年以上の職工には昔の惡い觀念の者が多い、少年工を大きい方と一緒にさせておくと少年工がスポイルされて惡くなる、來間君が初めにいはれたやうに知識階級でも勞働者でも中年の者はどうもイデオロギーが不平をいつたりなんかするのはその連中です、それで少年工は少年工だけで仕事をさせたり、鍛成したりするのがよいと思ふのです、少年を仕上げる時には何時役に立つのか疑はしいやうに思ふけれども十年經てば立派な一人前になるのだから、こんな時代には大々的に少年といふものを立派に育て上げるやうにしなくてはいけない

來間 中年者は眞面目にもせよ

理論と實踐

例へば勞働者にしても當面の生産增强には腕のよい中年者を使はざるを得ないわけですから、もつと中年者にも教育や鍛成の必要はありませう

末弘 最も急迫した面においても案外取上げられてゐない問題が多い、昨日も中央賃銀委員會で賃銀の問題があつて困ると問題が出たら、或る人から『ドイツ式に出來高拂ひの制度にして能率がよければそれに應じて賃銀を拂ふことにしたら』といふ議論が出たのに對して『能率給で拂ふのは唯物思想だ』と勞務新理念の說を述べた人もあつたがかういふ理屈の問題ずらなかく決定しないのです、ここ一年か二年の間生産力をうんと增すことが大問題なんだから新理念說などは後廻しでよからうと思ふ、今は火事場だ、火事場へ行つて說教しても始まらない、火事場の說教なんか寧ろ邪魔になる、我らよい說教よりも火事場では一杯でもよけいに水を汲む方がよい、まだいろく問題はあります

繰上げ閣議

【東京電話】昭和十八年の初閣議は五日の定例日が新年宴會のため繰上げられ四日午前十一時二十分より首相官邸に開會、十一月末より病氣引籠り中の湯澤内相も本閣議より出席、賀屋藏相より昭和十七年末における金融狀況ならびに同年における國債消化狀況につき報告

昭和十七年末における金融狀況は極めて平穩であり兌換券の發行高は七十四億六千萬圓であつた、また昭和十七年中における國債消化額は百二十八億一千八百萬圓に達しこれは國債發行額の九十六パーセントに當り未だかつて前例のない良好な消化であつた、その他當面の諸問題に關し種々懇談を遂げ、午後零時半散會

皇國日本の眞姿 七日發賣 (四六版約二百頁 定價五十錢送料八錢)
わが國皇道哲學の大權威今泉定助翁は過般本社の招聘によつて來鮮、各地における講演會および座談會に出席し、世界に冠絶する我國の皇道の本義を說いて一般に多大の感銘を與へたが、本社では同講演會および座談會における講演話の全文を輯錄し、茲に嘆古の大戰下、決勝の新春にあたり、國體に透徹する道義朝鮮の確立に絶好の資料、絶對の指針として敢て江湖に推奬する次第である
京城日報社

回教協會長に四王天中將

【東京電話】大日本回教協會々長林銑十郎大將は今回任期滿了を機に勇退、名譽會長に就任、新會長には四王天延孝中將がそれぐ就任した

スターマ氏 後任上海着

【上海四日同盟】駐日ドイツ大使に榮轉したスターマ氏の後を承けて駐華ドイツ代理大使に任命された前駐日ドイツ公使コルトは四日午後上海に到着、數日中に南京に赴きスターマ氏との間に事務引繼を行ふ

お斷り 朝鮮新聞會の申合せにより六日付夕刊は發行いたしません

陸海軍豫算内示會

【東京電話】陸海軍では來る十三、四の兩日左の順序により貴衆兩院の正副議長以下代表五十餘名をそれぐ陸海軍大臣官邸に招待のうへ所管の本年度(十八年度)一般豫算につき内示說明を行ふことになつた

▲十三日午後五時海軍(貴族院)同同陸軍(衆議院)
▲十四日午後五時陸軍(貴族院)同同海軍(衆議院)

京畿道御用始式

京畿道廳の新年御用始式は四日午前十一時四十分より道廳第一會議室において高知事以下全職員參列の下に決戰道治の誓ひも固く行はれた

國民儀禮ののち高知事より職員擧つて道義を目標とし增産指揮に際しては總力決戰の意氣をもつて事にあたり、一方事務の刷新を圖るべきを訓示、終つて松本產業部長より全職員誓つて銃後における道義精神の昂揚し事務刷新に邁進もつて首班道として指導役割に一步前進せんことを答へ正午式を閉ぢた

湯澤内相全快

【東京電話】東條首相は湯澤内相の猩紅熱療養中十一月廿五日臨時内務大臣事務管理仰付けられ今日に至つたが、湯澤内相の病狀はその後順調な經過を辿り去月廿日全快、東大附屬病院坂口内科を退院し爾來自宅で靜養をつゞけて來たがこのほどやうやく宮中に參内、側近奉仕を許されることゝなつたので、四日東條首相の事務管理は解任せられた、右の旨六日附官報をもつて告示される

内相初登廳

【東京電話】湯澤内相に代つた東條首相の内相事務管理が御用始めの四日解かれ、すつかり元氣恢復した湯澤内相は午前十時足どりも輕く初登廳して一千五百の省員に何よりの御年玉を贈つた

昨年十一月廿三日發熱した内相は翌廿四日猩紅熱と診斷され直ちに帝大病院坂口内科に入院、暮も迫つた廿日やつと退院、自邸に二、三日すごした湯澤さんは廿四日から正月三日まで湯ケ原で靜養、四日初登廳した

君が代は
いはほと
共に動か
ねばくだ
けてかへ
れ沖つし
ら浪
愛國百人一首より
富國徵兵

綿の海
今迄よりよくて
利用が廣い
ワニ印 國策 綿海
大阪 株式會社 鐘井商店

少女の友 新年號
グラビヤ讀物 ★神話の國、出雲を訪ねて(後藤守一)
★愛國百人一首抄(窪田空穗)
座談會 これからの少女に大切なこと 大屋梅子 芹澤光治良
北方民族の生活、風物(山本祐弘)
母を慕ふ防人の歌(深尾須磨子)
遙けき南海に使して(升永正子)
正月の想ひ出 吉田絃二郎 結城哀草果 長谷川かな女
★特 中國風土記 支那の正月 實藤惠秀
小さい記錄(短篇小說)…德永直
將軍の令孃(長篇小說)…橘外男
青空より青く(長篇小說)…サトウハチロー
命のかぎり(長篇小說)…大池唯雄
★新連載長篇小說★ 夕陽ヶ丘の乙女 丹羽文雄
東京淡路町 實業之日本社發行 振替東京三二六番 五〇錢・送二錢

健康兒にする毎日一球
理研のあまいビタミンA・D
糖衣 理研ビタミン球
皮膚や呼吸器粘膜を丈夫にするから風邪にも強くなり、特に成長を促進し、骨や歯を丈夫にするのでお子樣には持つて來いの榮養强壯劑です
二月量 二圓五〇錢
發賣元 株式會社 玉屋商店

軍事保護院編 主題小說集 第二の戰場 最新刊!
傷痍軍人と出征戰歿の家族、遺族の生活問題に取材した文壇第一線の鬪將總動員の小說集! 戰ふ日本にとつてこれ以上切實な文學があらうか? これ以上緊張した小說があらうか? 日本人なら一人殘らず讀まねばならぬ。
—目次—
阿部知二の「共に生きん」
尾崎士郎の「月の夜の思ひ出」
榊山潤の「第二の戰場」
島木健作の「芽生え」
芹澤光治良の「生きる日の限り」
富澤有爲男の「明日のふるさと」
丹羽文雄の「若い空」
和田傳の「草深く」
本書は社奉公版 B6判 三三六頁 價一・四〇 〒一二
東京・牛込かぐら坂 振替東京六一六一四 時代社

室戶書房新刊書
東京市芝區新橋四ノ六四 振替東京一〇六一四番
トリン・デュク・オアン著 奧好晨譯 安南の情熱 價二・八〇 〒二〇
本書は現代安南の若き世代の志向、即ち傳說、風習宗教その他安南の青年層の考へ方を明瞭に表現せる風俗小說にして安南を知る手引書でもある。
森三千代著 晴れ渡る佛印 價一・六〇 〒一五
牧屋善三著 書下し長篇 小說 歷史の夜 價一・八〇 〒一五
疾風の時代を歷史の夜と觀た著者が、疾風百年祭に送るその時代の息吹きである。
並木行夫著 風雲幕末双紙 價一・三〇 〒一五
小野金次郎著 回天浪士組 價一・六〇 〒一五
A・G・ボムラ著 石井三男譯 濠洲大陸橫斷記 價1.80 〒0.15
謎の大陸濠洲の原住民を中心として橫斷の地の地形・動物・鳥類・氣候・地質に特に原住民の生活事象を鮮明に紹介した興味深い書である。
A・ラトランス博士著 鶴田賢次譯 ボルネオ熱帶醫療行 (近刊)

小學館の少國民雜誌 趣味と教養を兼ねた 新年號が出ました
ツヨイコヨイコ 幼稚園兒・國民學校一年生の方へ 定價五十錢
▲龍宮へイッタ花寶リ…關敬吾文・鈴木壽雄畫
▲オメデタウ水兵サン 若杉雄三郎・中尾彰畫 中山晋平曲・島田曼振
▲マケルハマケ…後藤楢根
▲ツルギ山ノ話…小川未明
▲バツマウデ…河目悌二
▲オメデタウ…藤澤龍雄
良い子の友 國民學校一・二三年生の方へ 定價四十五錢
▲日本ノ寶船…關谷健哉文 田代光畫
▲トンダトンダ…東永風生
▲國旗掲揚式…中尾彰
▲雪ノ進軍…松岡了一
▲クジラ…三芳悌吉
▲アジヤノ地圖…奥田津一
▲山ノドウブツ…室生犀星
▲目白…石森延男
▲麥フミ…中西義夫
少國民の友 三・四・五・六年生のお子樣へ 定價五十錢
▲農村新年…齋藤長三
▲雪國のお正月…稲田豊四郎
▲童詩少年行…室生犀星
▲步調をとつて…巽聖歌
▲長篇西遊記…佐藤春夫
▲雪の朝…村野四郎
▲南方へだより…奧瀬英三
▲正直な正治…小川未明
▲お社と鳥居…河野省三
▲正月の小孩…前木久壽
東京市神田區一ツ橋 小學館 振替東京四五一〇七

社說　決戰理念實踐の秋

一

決戰第二年の新春を迎へ、小磯總督は四日の總督府御用始式に於いて所信を披瀝し、半島二千四百萬民衆の向ふべき途を明示、その決戰態勢を促すところがあつた。我々はこの小磯總督の新春第一聲を聽いて敢然戰ひ拔くものである。總督はまづ『戰局に基づく朝鮮統治の大本を遂行すべき根本的理念は之を國體本義の透徹に求むべき必然性に關し、今や概ね管內に周知せられたるべきを以つて本理念を實踐すべき要綱を提示して――』云々と半島の戰時態勢が最早や理念の時代を脫して、實踐の時代に突入したことを指摘してゐる。理念より實踐へ――まことに決戰第二年の新春に相應はしき、時局を語する新標語である。

二

總督は道義朝鮮の確立卽ち國體本義の透徹を朝鮮統治の基本理念として、昨年以來事ある每に、事を大にしてこれを說いて來た。半島二千四百萬の民衆もまた總督のこの高遠雄渾なる理念を心の糧としてその眞意を把握し、その本義を究明理解することに努力し來つたのであるが、これを實際我々の各職域について見るならば、この理念は理念として、未だ眞にこれについての實踐として、徒らにこれを高唱低吟してゐるに過ぎない感がないでもないのである。然しながら如何に高遠雄渾なる理念もこれが實踐に移されざる限りは國家の進展には何等の實益を齎さぬことはいふまでもあるまい。殊に現下の半島の政治、經濟、文化の上に具現される爲めにはこの大いなる理念の實踐なくして、それを求むることが出來ないのは勿論である。總督が本年を期して、理念の實踐時代なりと強調する所以は實にこゝにあると思ふのである。

三

我々はこの理念の實踐こそ本年の我々に課せられたる最大の責務であることをまづ銘記して總督の所謂實踐要項を點檢する必要があると思ふ。總督は修練錬成の徹底的實踐をその訓示の第一項目にあげてゐる。いふまでもなくその修練錬成の目的は皇民としての完成にある。特に近く徵兵制度ならびに義務敎育制度の施行を前にしてこのことの必要を痛感するのであるが、要はその實踐にある。この點總督も『本年度以降これが制度機構に必要なる施設の充實を加ふると共に新機關をも設置してその錬成の徹底に邁進する覺悟』とその逞しき實踐的意欲を披瀝してゐる。我々はこの積極的なる意圖に副うて、愈よ自己錬磨の實踐に邁進すべきである。

第二は生產戰力の決戰的增强といふことである。戰局は愈よ決戰に次ぐ決戰の樣相を深化しつゝある。この決戰を勝ち拔くためには國內戰力の增强にあることいふまでもない。半島の戰力の增强にはこの戰力の總てが一點に於つて結集されねばならぬのであるが、總督はこの訓示の中で、農村の再編成による食糧增產の企圖、統制方式の改善による工鑛業の增產確保を政策最大の重點として、その積極的實踐を力說してゐる。特に注意すべきは從來比較的等閑視されてゐた交通關係の積極的推進を取上げてゐることであつて、これこそ我々の最も共感を深うする點である。輸送の確保なくして、生產力擴充は到底期し難いのである。我々は總督のこの周到なる施策理念に心から協力を惜まねばならぬ。

五

最後に總督は又々庶政事務の積極的刷新を說いてゐるが、要するにそれは官場精神の刷新明朗なる發揮であり、峻嚴なる吏道の刷新である。總督はこゝで官吏の大乘的態度と自責的努力を特に强調してゐる。衆庶の師表たる官吏の殉國的職場精神の發揚こそ國政推進の基底であつて、この正しき理念は今日何人と雖も否定出來ぬものであるが、これまた要するにその實踐にその要があるのである。我々はこの小磯總督新春劈頭の大訓示こそ本年に於ける總督府施政の眼目であり、決戰第二年に處する我々の座右銘であることを思ふのであるが、而もその狙ひは一つ、たゞ實踐あるのみであることを深く銘記せねばならない。

新たな軍需獨立案
結局机上計畫に終始
重慶、國內態勢の再整備に狂奔

【廣東四日同盟】大東亞戰爭の勃發は重慶の抗戰體制に決定的な衝擊を與へ、自主自力抗戰と稱ふ前途なき步みは既に戰爭第二年目に突入するに當つて更に必死の形相とを變化して來た。重慶にとつてこの一ケ年は自力抗戰體制をあくまで戰ひとらんとするいはゞ血みどろの內鬪であり、そこからまた必然的に生れる複雜なる苦悶と混亂の一年であつた

△戰略と兵力　これを先づ軍事的見地から見れば唯一の生命線たるビルマ補給路の喪失は敵に英米的戰略戰との訣別を意味するだけでなく、重慶の表玄關に留る米英から吹き込まれた形となり、殊に米英からする武器、軍需品の供給杜絕は抗戰々略の上に絕大な影響を與へた、作戰的にはこれ迄も遊擊戰術を主軸とする消極的持久戰法を掲げ、戰力の保持に努めて來たが、大東亞戰の結果益々これに輪をかけ、ひたすら在支米空軍の航空ゲリラ作戰に期待と希望をつなぐといふ始末であつた、この消極的態勢が五ケ年の戰敗と廣大なる土地及び人的資源から創出された重慶戰時のものであるとはいふまでもないが、其裏には長期戰へ執着しつゝその國際情勢の轉機を待たんとする重慶の我慢が裏打ちされてゐることを見逃してはならない、しかしかゝる基本的戰略に汲々たる重慶も我が大陸攻略や不斷の剿滅戰によつて益々戰力を低下し、また自力抗戰の新戰略に呼應し得べくもない國軍の改編し近代的軍隊の建設や、軍需獨立案などが計畫されたのは、恐らくこゝら邊りに由來する譯であるがそれもこれも机上計畫に終らうとしてゐる

一方兵力の補充は人的資源の豐富を誇つてゐるにも拘らず、糧食問題と並んで重慶惱みの種となり漸く深刻化して來た、この十月兵役會議、社會行政會議を相次いで開き兵員補充策を練つたがその結果滿十八歲から四十五歲迄の健康な男子は義務兵役に服せしめ學生の召集延期も取消すといふ新兵役法を制定した、亦武器軍需品の補給は現在印度からの空輸に依つてゐるもの、之れは積載量の關係から問題にならぬ狀態なので新たなる補給路の探索に躍起となつてゐる、戰略的には大陸戰場に手も足も出ぬ重慶は、米英と協議してビルマ奪回の幻影を抱き最近此處を第三戰線と稱して對日反攻の足場にせんと儚い努力を續け、ソロモン方面の米の執拗な反攻と呼應して更に對日反攻の端緒を作らんとするものであらうが、この點から見て大東亞戰爭第二年目においてはビルマ奪回、ビルマ・ルートの回復を夢みる意味的動きを續けるものと見ねばならない

△經濟力增强への　自主自力抗戰體制は『自立自足』『自力更生』の呼號に標示される如く凡ゆる政策が抗戰の基礎たる國家力の增强發展に向けられて來た國家總動員法による人力物力の動員から西北建設開發經濟の全面的統制化、糧食政策と田賦の實物徵收、對米五億弗、對英五千萬ポンドの借款を基礎とする公債政策等孰れもこの總戰力增强一本への集中であつた

蔣介石のいふ所謂『經濟七分、軍事三分』の抗戰綱領は大東亞戰後特に重慶の主流となつて押し進められてきたのである、然しながらこれ等の諸政策は強力な國家權力の發動によつて國民生活を犧牲にするものであるため、その行く手には封建的組織及びその性格といふ支那的な手ごわい障碍物が大きく聳立してゐた、物價問題、糧食問題と兵役問題とこの一ケ年重慶最大の苦惱は主としてこゝから釀成されて來たのである、從つてこの封建的な反撥と殘滓とを打破せざる限り問題の解決は絕對にあり得ない、自力抗戰態勢を確判に限り切るためには何としてもこの社會的障碍を除去する必要に迫られたのである、過般の十中全會後の重慶の動向は端的にこの間の因果關係を物語るものである、そしてこゝに『强力政治』『憲政治の確立』といふものが强く重慶の政治的表面に押し上げられて來た

△從來も抗戰　經濟の推進には蔣介石獨裁機構の强化が數個相添ふが如く伴つて來たのであるが『我國は積年の病弊によつて最早の末端に至るまで實效の滲透を意味するものである』と蔣介石をして悲鳴を上げしめる事態に立至つては『力の政治』以外にこれを斷ち切るは術ない、十中全會では斯うした經緯から國民黨の細胞的地方機構と地方行政組織の完整が憲政治確立の名の下に徹底的に押上げられたが、これは國民黨一黨獨裁力の强化であり政治組織の末端に至るまで實效の滲透を意味するものである、いふところの强力政治とは卽ち國民黨專制に裏付けられた蔣介石獨裁力强化である

而してかゝる强壓政策が集權的な經濟政策と共に押し進められれば、或る程度まで封建的社會組織なり性格なりを切り崩し得るであらうが長い傳統に培はれたものは一朝にして抹殺することは不可能であり其處からまた幾多の矛盾や混亂が社會的不安となつて生ずることは容易に想像されるまた現在重慶最大の問題となつて來た物價問題は物價統制法案が新年早々實施されることになり食糧問題、共に抗戰の運命を左右するものとして力を入れてゐるが、その因つて來る所は根深く果してこれが成功するかどうか明年最大の見物である

鮮內各銀行業績
下半期は成績順調

鮮內掛場各銀行はいづれも十二月末日を以て昭和十七年下半期決算を締切り、目下精算中であるが、大體各行ともその業績は順調裡に推移し、前期に引つゞき堅實な步調を辿つてゐる、卽ち預金面においては貯蓄獎勵の結果と、一部銀行の合同によりその計數を增大し、一方計劃金融による貸出面も飛躍的に增勢を示せる半島經濟力と生產計畫の擴大とを反映して、これに計數を擴大し預金貸出の計數增大による利殖收入の增加は一面における公債消化の積極的方針にも拘らず、各銀行の收益を堅實にしかも順調に增加した、かくて各銀行の內容は愈々充實化した傾向があり、本年における一層の活動が期待される、特に注意すべきは商銀、漢銀、東一の三行が朝銀の前期配に倣つて、一分增配が豫想され、實現することゝなつたことであるが、銀行は何れも利益金の大半を行內保留に充當、積極的な方針である、各行業績の概要左の通り

▲鮮銀　各支店よりの決算報告未着の爲め確なる數字は不明だが大體公表利益は前々期の五百五十萬圓よりの相當の增加を見るべくなほ純利益は公表利益の二倍見當と、下期業績はきはめて順調であつた、總會は二月廿日頃東京に開催するが配當は七分据置のはず

▲殖銀　當期利益金四百二十八萬三千百六十五圓、前期に比し一萬五千三百九圓の增加となつた總會は二月十五日ごろ開催するが配當は前期同樣九分据置に內定

▲貯銀　當期純利益金四十七萬百四十五圓、前期繰越金十八萬七千三百三十三圓、總合計において六十五萬七千四百七十九圓、總會は來る廿五日開催するが、配當は八分据置に內定

▲商銀　預金二億六千六百八十一萬三千七百七圓と遂に待望の二億五千萬圓突破せこれを前期に比較すれば三千百四萬三千九百二十四圓前年同期に比し六千五百八十六萬五千九百四十五圓の著增である、一方貸出は一億七千百十九萬三千五百八十二圓にして前期に比し一千八百六十四萬三千四百圓、前年同期に比し三千七百二十五萬五千三百八十四圓をいづれも增加してゐる有價證券においては七千四百四十萬七千圓にして前期に比し一千三百三十一萬一千八百六十圓、前年同期に比し三千百九十七萬五千二十圓を增加してをり結局純利益金においては四十九萬四千八百三十一圓となり前期に比し四萬三千二百二十九圓、前年同期に比し九萬二千八百四十三圓を增加するに至つた、なほ有價證券中國債保有高は四千三百二十二萬六千四百二十圓にして前期に比し一千七十八萬二千九百二十圓前年同期に比し一千六百七十五萬三千六百七十六圓の增加である、總會は一月二十五日ころ開催するが配當は今期において待望の一分增配の七分配が實現する

▲漢銀　卅五萬二千百四十一圓の利益を擧げ前年同期に比し七萬八千百七十二圓の增加となつたなほ總會は一月末開催するが配當は商銀、東一同樣一分增配の七分配を行ふことになつてゐる

期末現在主要勘定（單位圓）當期末現在前年同期比較高預金二〇〇、八〇二、六五六、五六、九一四、五一五貸出一六六、四〇八、二二一四、四五、五三三、〇〇五利益金三五二、一四二、七八、一七二

▲東一　卅三萬九千三百三十一圓の利益をあげ前期に比し三萬六千五百六十九圓の增加となつた總會は一月下旬開催するが配當は今期において一分增配の七分配が實現しこゝに商銀、漢銀、東一の三普銀の配當は鮮銀と同格となるわけである

內譯（單位圓）	十七年下期	前年同期比較高
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]
當期利益金	[illegible]	[illegible]

事務の刷新を圖る
金聯、副參事制を創設

朝金聯では今回新に副參事の職制を設け事務の刷新をはかることになり、去る十二月卅一日附をもつて左の通り發令した

藤田三郎▲大波多俊治▲大山元寛▲神尾勇一▲光成啓一▲佐川富知▲嚴鼎煥▲原澤萬次郎▲金東顯▲山田勘三郎▲志賀源五▲方山漢弼▲高田隆一▲吉田祥朔▲河東宰模▲文永健▲直本文男▲光永範輔▲金海良治▲門脇季榮▲佐藤米松

副參事を命ず（各通）

▲庶務部總務課勤務藤田三郎▲庶務部經理課勤務大波多俊治▲庶務部普及課勤務大山元寛▲金融部資金課勤務押尾勇一▲指導課勤務光成啓一▲事業部購買係勤務嚴鼎煥▲事業部販賣課勤務原澤萬次郎▲敎育部敎務課勤務山田勘三郎▲敎育部調査課勤務元原正熙▲京畿道支部在勤金東顯▲忠淸北道支部在勤佐川富知▲忠淸南道支部在勤志賀源五▲全羅北道支部在勤方山漢弼▲全羅南道支部在勤吉田祥朔▲慶尚北道支部在勤文永健▲慶尚南道支部在勤光永範輔▲黃海道支部在勤金海良治▲平安南道支部在勤河東宰模▲門脇季榮平安北道支部在勤▲江原道支部在勤直本文男▲咸鏡南道支部在勤高田隆一▲咸鏡北道支部在勤佐藤米松

文登鑛業株式會社に改組

日本マグネシヤ系文登鑛業ではかねて株式會社に改組すべく認可申請中處認可されたので本月二日創立總會を開催、資本金六十萬圓全額拂込濟みの新會社を設立した、役員左の通り

▲取締役社長小笠二郎▲專務奧島庸三郎▲取締役芥川均一、森晋▲常任監査役今村勝吉、成田亮一▲相談役高橋省三

横濱の生糸市場
新甫五月限り休止と決定

【横濱電話】横濱取引所では舊臘末大藏省當局より全國株式取引所統合決定を機會に横濱、神戶兩生糸清算市場は廢止するを適當と認むるをもつて善處されたき旨要請があつたので四日午前九時より緊急役員會ならびに取引員總會を開催、立會はすでに開始せられた昭和十八年四月限までとし、新甫五月限以降の取引を行はないことに決定、左のごとき聲明を發表、こゝに五十年の歷史を誇つた横濱生糸清算市場も國策に卽應して休止することになつた

聲明　昨秋生糸取引所の將來に關し種々と角の論議を釀したる際横濱取引所は自由取引生糸の存在する限り敢然職域奉公に邁進する決意を表明せることは周知の通りである、然るにその後全國株式取引所を統合して日本有價證券取引所設立せられることゝなり、これが設立決定と生糸清算取引の現狀にかんがみ横神兩生糸清算市場はこの際廢止するを適當と認むるをもつて善處されたき旨十二月末日に至り大藏省より要請ありたるにつき、生糸清算市場の實質はすでに開始せられた昭和十八年四月限までとし五月限以降の取引は行はずこゝに糸價公定の世界的權威として五十年の傳統を誇りし横濱生糸清算市場も時局克服に卽應して休止するに決定した

船こそ重點中の重點
船價と竣工期限について

戰ふ船舶　和辻春樹

船の價格を船價と稱して、格に船價といひ、新造船公價を造船價格又は新造船價といふ、船を造るに要した實費は、實際船價で竣工價格ともいふのであるが、海運業者と造船業者間に締結する造船契約價中に明記してゐる價格はこれを契約船價といふ、また海運市場の傭船料率を以て貸船をした場合に、船舶金融に對する一定の利廻りなる利益を擧げ得る時價を標準船價といふのである

一般物價が普通にあるときには出來上つた船の實際價格が契約船價よりも高くなることは極めて當然のである、船を造る期間は平時にあつては、造船契約締結後、竣工まで九ケ月乃至一ケ年位を要するを常とするのであるから、契約當時の物價を基準とするが、或は多少の先高見越の見積をした船價でも相當の差異を生ずる場合もある、卽ち契約船價の大部分を占める船體材、機器、計器、艤裝品等の所謂造船材料が、一般物價と共に騰貴の一途を辿る限り、造船業者が如何に急註文を發し、手ぎはよく手配をするとしても竣工船價が契約船價以上に高くなることをまぬがれる譯にはゆかないのである

◇……現在の船價は十年前の同型船々價に比較すれば、約三倍半乃至四倍になつてゐることは低物價政策下にも似合はぬ騰貴振りであると言つて差支ないと思ふ、貨物船に於ては船價の六割乃至七割、客船は七割乃至八割に相當する金額は材料費に充當されるのであるから、造船業者にその材料入手の度每、或は現下の如き情勢に於ては、一部乃至半額を前拂ひで下請製作者への支拂に充てるのである、それ故に造船業者が下請註文者から購入する資材製品の總ての價格を公定せざる限り、船價だけを公定することは事實上不合理と言ふ譯になるのである、元來適正價格などと言ふものが文字の上ではともかく實際問題として理想的に公定されると考へることは、假ではないかと思ふのであるが、數百種以上、一千種に亘る資材製品を綜合して造る船の價格を、その使用資材の一つ一つの價格を定めずして決定しようといふことは造船業者としては、スペキユレチーブな面があつたのである、ただ購入資材製品の價格に於て見積りと實際の間に出入りあることが唯一のフレキシビリチーで、從來造船業者はある意味に於て、相當の危險を踏んで造船契約を船主と結んでゐたものであると言へるのである

しかしながら船を早く造らうといふことが最も必要であるときに適正價格などといふ公定し難い船價を定めることは、資材が豐富でない限り竣工期限の遲延を招く結果になるに過ぎない、戰爭遂行上絕對必要とする船は兵器の一部でもあるに相違ないのであるから、若し最短期間に最大量の船舶を造ることが銃下の緊要であるとするならば、戰費の一部を以て價格の高きを補ふことにしても、竣工船舶の噸數が一噸でも多からん事を期する方が合理的であるやうに思ふ

◇……物價は生きたものであるから、いゝ加減な人間の頭腦位をしぼつて見ても判つたり、適正價格が定まつたりするやうな簡單なものではないが、商取引きと言ふことは極めて微妙なもので、素人の想像するやうなものではない筈である、それだから購入すべき物價を定めずして、それを契約して出來る船の價格を無理に公定しようと言ふことには大きな矛盾があると思はれるが、其數多い購入品を入手する爲に廿有餘の統制會があつて所謂取引きの機微を發揮することも許されない造船業者に、更に七面倒なる手續きといふやつを加へてそれで早く船を造れと望むことは、隨分合理的でない點があると思はれる

船舶の大量急造を必要とする場合には、造船業者が購入すべきあらゆる資材製品の取引に暴利を絕對に許さぬだけの嚴重な當局の監督があればよいので、船價を公定することを急ぐ必要はないのみならず、却而このまま船價を定めることは建造期間を長引かせることになるのである、所謂原料價格を押へぬ製品價格の公定には無理があるといふべきで、寧ろ工程の順調に運ばれることを妨げる結果になると思ふ、この際は船の價格やその補償問題に煩はれるよりも速く造り、早く動かすといふことが、現下緊要事であることを今一度考へて見てもよいのではあるまいか、これを一般的生產の場合に就て考察して見れば、周到なる計畫生產を適用しなければ生產增强といふことが六ケ敷いといふことと同じであつて、我々はこの際飽くまで船を造らなければならないのである、短期大量造船は重點中の重點であるから、竣工遲延の虞れある障碍はこれを除去することが肝要であらうと思ふ（筆者大阪商船常務工學博士）

陸上戰技へ邁進
積極的な活動を開始

半島體育界も戰勝に輝く希望の紀元二千六百三年を迎へた、勝つて勝ち拔かねばならないこの決戰第二年、こゝにいよいよ緊要が要求する人的資源の向上、生產擴充のうへには國內における必勝の體勢にまつところ大であるが總督府では これが戰時體育の對策については決戰第二年を迎へ、特に光榮ある半島の徵兵制をいよいよ明年に控へて强力な施策を講じ大陸兵のやうな體錬の新しい實施を斷行する方針を決定した

一、女子體力章檢定の新實施
二、武道並に國民體育指導者の各種修鍊會の開催
三、體力章檢定指導員講習會開催
四、國民體育指導者資格試驗の實施（資格附與）
五、各道郡社寮實國民體育大會査閱（局長、課長等）
六、朝鮮神宮奉贊體育大會における各道選手入場行進査閱（保健課主催）
七、花郎道修鍊道場の開設
八、朝鮮神宮奉贊體育大會を總督府で主催
九、國民心身鍛錬運動に協力
一〇、朝鮮青年特別錬成所の體育指導
一一、朝鮮體育振興會の指導
一二、大日本武德會朝鮮本部の指導（武道體育行政機構の確立）
一三、兵役年齡滿者の鍛錬
一四、內地人の體位向上、半島人の武道體育を通じての精神訓練
一五、國民體力法に依る政府の結核撲滅對策に協應する體育の實施を修鍊會に協力
一六、生產力擴充の根基培養のため會社、工場員等に對する體育指導者の養成
一七、鮮內各地方との連絡を緊密化（中央會議、地方出張指導等）

これは大東亞戰爭完遂を期する高度の錬成を施し世界に誇たる國民の體力にまでに鍛へあげる大理念に基くものだが、このうちでも內地人の體位向上、半島人の武道體育を通じての精神訓練、女子體育の振興、國民體力法に依る政府の結核撲滅對策に協應する體育の實施と修鍊會に努力、生產擴充の根基培養のため會社、工場員に對する體育指導者の養成、鮮內各地方との連絡緊密化による國民總訓練の實を擧げんとする項目等は、朝鮮體育實施への重點目標となるもので、指導の對象となるべき體育の整理、半島體育の健全な發達振興を企圖する先決條件として指導者の養成に重點を置くこと、さらに國家が要求する綜合體力錬成と國防技能の增强も決戰第二年を迎へていよいよ逞しき實踐へ向つて巨步が踏み出されることゝならうが、總督府のこの堅確なる半島體育の新しい理想に基いてこれが表裏一體の關係にある朝鮮體育振興會もさる一年において固めた

隨想錄

倉茂軍報道部長が"すめらみいくさ"を戰ひ拔き、銃後も今は第一線だと訓へてゐる。この言葉をたゞ耳にだけ聽かず、しつかり肚に納めたい▲南方の寶庫を占據したといふと、米が來る、砂糖が來る、ゴムが來ると云ふ風に、國民の中に漫然の聲が起つたが、これは思はざるも甚だしい▲いま銃後生活の豐富化など考へる時ではないし、また資源を握つて自分達が利得に惠まれたいといふのでは、米英的侵略者の考へ方だ。そんなに物欲しさうな意見では新らしい歷史など創造出來ないだらう▲虐げられた南方民族を救ひ我等の軍は神兵と讚歎されてゐる。それならばこそ『聖戰』と呼び得るので、我等銃後の一億も、南方の物資に眼をくれず、勞苦を兵と倶にせねば罰が當る▲倉茂報道部長が『銃後もまた第一線だ』といふのは、これを指すものだ。實際われらの上には何時如何なる時に敵機が現はれぬとは限らない。そのやうな場合に、誰が自分だけの安泰を考へるのだ▲戰爭で物の不足するのは餘りにも當然だが、他人の手に入らぬ物を自分だけが手に入れたいとするやうな、敵性行爲を皆が愼んだならば、物は窮屈でないほど豐富である▲國民全體は大きな隣組であると共に、また戰友同志なのだ。戰場で一本の煙草を分けて喫みあふ美しいあの戰友愛を、銃後に生かして、最後の五分間まで戰ひ拔かうではないか。

京日歌壇

京城　野村　里浦

夫に會ふ心一途の旅つづけはるばると來し大阪の街

戰傷のことには觸れず一人旅ねぎらふ夫に淚すわれは

德川　無森　八重

霜柱踏みしくつつ新なる感激を胸に神詣りすも

京城　菅川　忠好

のみさしの煙草をやけにつぶしては堪へぬ思ひに耽る昔かも

同

すべもなき心に仰ぐ冬の空うすら日寒く雲も動かず

成田　博子

夜の部屋に衣縫ひこもる我がひとよ外の面の音は霰の降るらし

福島　友子

病室の汚れし壁の三角圖受驗の子は病みてありしか

元山　萬瀬　宏平

【應募】一月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り▲京城日報學藝部『京日歌壇』あて▲住所氏名明記のこと

半島の史向（4）
新しい朝鮮史への一試論
松田壽男

古朝鮮の發展民が、その歷史に刻んだ他勢力との關係は、右に述べた北國的勢力乃至民的聯繫だけではなかつた。西南鮮が、すなはち韓國要地に起つた契丹族やヂンギス汗の蒙古に名高い蒙古族による半島支配は、遊牧の子、漢族民と彼らとの交涉が、政治的にまで熟められた例である。また、契丹、そしてその基礎となつた古朝鮮國は、農耕支那との深い關係を物語る。實際、北支那から南滿洲を通路として半島に入る陸路や、山東半島から渤海を越えて鴨綠江や大同江の河口に達する航路は、今を去る二千年以上の昔から、盛んに支那移民を運び、遂にあの古朝鮮國を出現させたのであり、その後も、常に支那の政治力を半島に導いたのであつた。

それならば、これほどまでに各方面から多種の勢力をひきつけた原因は何か。表朝鮮の魅力は何であつたらうか。私は思ふ。それは、そこ、今日、南は釜山の埠頭で關釜連絡船と握手し、北は鴨綠江の橋梁で南滿洲鐵道と連絡する、半島縱貫の幹線鐵道が、我々に示すそのものにほかならない。換言すれば、西部朝鮮十道の地が支那や滿洲と日本本土とを結ぶ陸橋地帶として、必然的に東亞國際商業の中繼者的立場に求められるであらう。つまり、周圍の諸民族が、この方面との交涉に熱中し、實力を以て進出を企圖したのは、國際貿易に參加し、或は、市場を確保することにほかならなかつたのである。たしかにこれほど半島の變動には、國際商業の華か流れが伏爲を帶き、そこに起つた國々は殆ど例外なしに中繼商業者的性格を濃厚に展示してゐる。古史に例をとればたの百濟はその最も典型的な國であらう

明月溝にて
牧　洋

一升壜

去年の暮を振返つて見ると、男といふ稱の男は、背廣服も國民服も申し合せたやうに、一升壜を抱へてゐる姿を每日のやうに見た。さすがに新春と共に、そんな男は見なくなつたが、正月を祝ふ酒にしても、あそこまで露骨になると、何となく淺ましいやうな氣がせぬでもなかつた。然し、手に入れた酒なら飮むことに罪はないが、もつと別の方面に、あれだけの熱心を傾けたらよかつたのにとは思ふ。

暮古に一泊、龍潭村の開拓部落をみました。明月溝から四里、バスで三四十分程の所です。この一兩年の凶作が續いて相當困つたやうでしたが、幸ひ今年は豐年でみなよみがへつてゐます。龍潭部落は慶南密陽、山淸二郡の出身ですが、年收最高約三千圓、最低約一千五百圓で生活極めて愉快明朗なのを見てうれしく心强く感じました。この邊の農閑期における副業による收入が相當なもので、例へば山から自由に伐木が出來るので、勞力さへあれば收入はいくらでもあるといふ有樣です。

正月の文化映畫

正月第二週以後紅白兩系で封切られる新作文化映畫の番組順序は次の如くである

高原農業（日映）航空無線（理研）道路（日映）雪と通信（東日）戰の力（日映）水中測的兵（理研）聖戰部隊（日映）

映畫ニュース

★映畫物資統制會社成る　總力戰の一部を擔ひ重要な役割を果しつゝある映畫の製作興行各般に對する資材不足を克服すると共に、これが圓滑なる適性配給を圖る建前から、過般松竹、東寶、大映、日本映配の四社から準備委員をあげ、主務官廳の商工省と折衝中であつたが、このほど前記四社が發起となり資本金五十萬圓を以て『日本映畫物資統制株式會社』の設立をみることになり、これに關して朝鮮映畫配給社は日本映畫配給社を經て同會社に關與することになつた、朝鮮映畫製作會社は目下創業未だ日淺く具體案はないがいづれ何等かの形で參加を餘儀なくされるものと豫想されてゐる

ニキビを取る
自宅療法　無代進呈
ひどいニキビで永年困つた私がスッカリ治つた自宅療法の體驗をお知せ致します。吹出物や油顏ニキビ跡どうしても治らぬガンコなニキビでお困りの方は今すぐ葉ハガキ下さいませ。親しく御返信申し上げます。
大阪市港區元町五丁目　安藤文子

濕布に
新發賣
今般エキホス姉妹品として發賣したる本劑は專らその藥效並に持續時間の永續に留意して製造せるものにして用法も至極簡便安全なる粉末濕布藥なり
特徵
一、長時間有效なる事
一、使用法簡便にして非常に爽快なる事
一、皮膚炎を起す等の副作用なし
一、價格も低廉なり
主治效能　感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎、扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス、神經痛、打撲痛、捻挫等
包裝　100瓦 [illegible]　500瓦 [illegible]
簡便・爽快・長時間有效
粉末エキホス
A-PE33.8T
エキホス姉妹品

祈皇軍武運長久
祝戰勝新春
株式會社　柳韓洋行
本社　京仁線素砂驛前　代表電話素砂五〇番
工場及京城營業所　京城府西大門町二ノ六　振替口座京城五一一八番　電話（光）二四二一・二〇二六
天津出張所　天津市伊租界五馬路二八號
台北出張所　台北市上奎府町三ノ一
大阪駐在所　大阪市西區靱南通二丁目
株式會社　大連柳韓洋行　大連市大黑町二九號
株式會社　滿洲柳韓公司　奉天市瀋光街五段九六號
株式會社　柳韓商事　京城府西大門町二ノ六　代表電話（光）十六八一番
柳韓實費醫院　京城府西大門町二丁目二ノ一五　振替口座京城一七〇九番　電話光化門二二四〇番
國民保健にネオトン

醫學博士七　植田浩先生推奬
婦人病　完治！
三省調血精は婦人病藥として最も進步したる理想的治療劑にして家庭に於て完全に治療目的を達し得るばかりでなく必ず健康體にして呉れる高貴藥です
●適應症　產前產後・冷症・ヒステリー・神經衰弱・頭痛・不眠症・腰痛・便秘・等の一般婦人科疾患に賞用せられる
價　一五〇瓦　三圓半・五〇〇瓦　六圓半
（全國有名藥店に有り）
◎女性の寶鑑衞生帖　明朗之家庭　御申込次第無代進呈
京城府貫鐵町一六一　三省製藥所　振替京城一三九一七番
婦人病靈藥　三省調血精

賀正
大東亞戰爭の輝しき戰果に明けたる昭和十七年の株式界は活況裡に終始し茲に共榮圈建設の希望に燃ゆる新なる年を迎へ更に一段の殷賑を讚期し店員一同新なる英氣を涵養し各位の御期待に副ひ申度一層御引立の程謹上候。
京城府明治町二　秋田證券　電話代表②五一五五

商業及法人登記公告
[illegible]

第九期貸借對照表（昭和十七年十一月三十日）
[illegible]

貴重な體驗を發表
京畿道の教育研究會

大東亞の次代を背負ふ第二國民の錬成を目指して國民學校研究科目を發表、これを種々檢討して一般と教員の資質向上を圖らんとする京畿道主催の國民學校教科中央研究發表會は新春の四日から三日間に亙つて京城中學校講堂で京畿道内國民學校私立初等學校教員九百名を集めて開催されたが、第一日目の四日午前十時から國民儀禮のち高京畿道知事（代理）の挨拶あつて直ちに研究科目發表に移つた

道内研究班、研究區から選抜された教員十五名のうちまづ仁川府旭國民學校訓導澤田榮氏は"國體顯現の學校訓育に就て"と題して研究科目を發表、次いで薮野、福留訓導など諸氏こもこも起つて教科各分野につきあらゆる角度から研究した貴重な教育體驗を發表した

なほ午後一時高京畿道知事がひよつこり來場、熱誠訓示を行つたが引續いて同三時から總督府教學官高橋濱吉氏の特別講演があつて第一日目を終了したが、なほ五日は同じく研究發表を終り、午後一時から"皇民錬成に就いて"と題して東京府青山師範學校教諭百瀬弘氏の講演があり、六日再び同氏の講演をもつて閉會する【寫眞＝同研究會】

三千職員も陶然
大愛もつて民衆指導に當れ
小磯總督　熱鐵の訓示
本府の御用始式

四日午前十時から總督府第一會議室に開かれた御用始式は小磯總督の心血を傾けた訓示と長官の緊張をもつて聽き入る參列職員との間にいさゝかの間隙もないといふ實に稀に見る感激の御用始式であつた。着任以來半歳、事ある毎に國體本義の透徹を說き道義朝鮮の確立を絶唱してやまなかつた小磯總督は決戰第二年目の劈頭に當り『理念より實踐へ』の大旆を掲げて熱烈直截、如何なる者の魂をも揺り起さずんばやまない激しさ、力強さ―知事會議席上で外には見られないほどの絶大な訓示要旨を右手にした小磯總督は時に大項目に眼を通す程度で參列三千職員と膝つき合はせて語り合ふといつた親しみのある碎けた調子

『小磯は神がかりだと評する人人が相當あるやうに聞いてゐますが、小磯個人は何と言はれても構ひません、然しそんなことを言ふ人自身は果して國體の本義に徹してゐませうか、私はそれを憂ふるが故に國體本義の透徹を說くのであります、お互ひはもつと神がかりにならうぢやありませんか』

皮肉ではない、燃ゆる信念の壯語―總督の魂の奥底からの叫びなのだ、御用始式に參列してゐるが故の緊張ではない、居並ぶ列席者は胸内に新たなる血の奔騰する感ひで知らず〳〵不動の姿勢になつてゆくのだつた。次いで總督は

『例へば朝鮮の列車は遅れ勝ちだといふ、石炭も悪いのかもしれない、然し私に云はせるなら實績に對する氣魄と技術との不足だと思ふ、私の乘つた汽車は多少遅れても取り返して呉れるが、他の列車についても同様努力すれば今日ほど列車は遅れずに濟むのではないだらうか―また禮節をお互ひに尊んで頂きたい、軍人勅諭にもある通り、禮節あつて秩序が保たれ、そこからあの皇軍の團結力、戰闘力、攻撃力が生れて來るのだ、禮節を尊ぶことは同時に生産力擴充の原動力となり得るのだ、これは小さなこと柄のやうであつて實は重大な問題だと信ずる、眞に上を敬ひ下を慈しむのでなければならぬ、かの寺内總督は武斷政治だと評されてゐるが今日半島民衆は寺内總督を慕つてゐるではないか、要は"大愛"を以て指導し民衆に接したからである、大いなる眞の愛があれば民衆は必ずついて來るのだ、親から殴打されながらも愛兒はその膝にしがみついてゆくではないか、眞に大愛のあるところ必ず同様の好結果を得るものと信ずる、本日の訓示は刷り物或は紙面紙上を通じて諸君のお手許に屆くことであらうが、何卒再讀三讀、私の意のあるところを玩味して頂きたいそして不退轉の決意を以て實踐して頂きたい』

原稿なしでしかも一時間十分に亙る熱と力と熱の渾然火の玉の如き大訓示であつた、緊張から解放された參列者一同は自分たちの膝頭が細くなつてゐるのを知つて驚いたほどだ、小磯總督が壇上を退いても一同はまだ醉つたやうに訓示の要所を耳の奥で腦の底で反芻してゐた、魂の響きがいま行はれてゐるのだつた

春塘池をスケーターへ開放
閉苑時刻も延長
【昌慶苑】

訪れた觀衆で昌慶苑の春塘池が結氷したので同苑ではスケーターのために去る三日から使用させてゐるが、この期間中は例年通り閉苑時刻を一時間延長して午後五時まで一般に公開することになつた

"氷上戰技"も公開
神宮奉贊冬季大會　八日から開幕

大東亞戰下、再び迎へる第十八回朝鮮神宮奉贊體育大會冬季大會はいよ〳〵來る八、九、十の三日間に亙る平壤大同江氷滑場における氷上競技をもつて戰ひの火蓋を切る、全鮮から選ばれた光榮に輝く男女五百五十名の氷上花形は大會に先立つて京城に集結、六日午前十時、大會役員とともに朝鮮神宮に參拜、日ごろ鍛へた鋭の精神と體力を奉納する赤誠を神前に誓ひ奉るが、いよ〳〵八日の氷上競技開會日午前八時半役員、選手全員は平壤神社に參拜ののち大會標旗を先頭に國旗を冬空高く奉掲、一同は隊伍を整へて平壤市中行進をくりひろげて大同江會場にくり込み同十時から莊嚴なる開會式を擧行、こゝに北の護りに勵起の半島若人が戰力增強めざして三日間に亙る銀盤の上に熱闘の力を競ふ錬成の火蓋を切ることゝなつた

しかして本氷上競技大會は總督府及び朝鮮體育振興會が體育決戰態勢にのり出した"鍛錬の戰場化"の實踐精神を反映し半島獨特の運搬、牽引競技など氷上戰技を公開演練、銃後にあがる若人の戰闘精神を昂揚するほか競技種目にも改編を加へ、これまでのオリンピック種目から離脱した錬成種目で戰へることゝし訓練服、巻脚絆着用の上、砂袋五貫を背負つた千五百米耐久競走も新しく登場こゝに半島の體育戰場體制を力強く誇示する

なほ、これが氷上競技參加者の内容は左の通り

◇參加人員　都市對抗一〇〇名、一般五〇名、男子中等二〇〇名、女子中等一〇〇名、學童九〇名

◇參加校別、新義州東中、新義州商業、五山中、順安中、崇實商、中東、平壤一中、平壤二中、平壤三中、江界中、新義州高女、同徳高女、龍谷高女、京城第一高女、平壤明倫女、正義女、平壤西門女◇都市對抗、新義州、江界、安州、平壤、咸興、開城、京城◇一般部▲學童平壤、新義州、京城◇氷球▲一般平壤、日室興南、徽文俱、延友俱▲高專城大豫、京醫、旭醫專、延專、普專▲中等光成中、松都中、徽文中

夏川ほうじ茶

北邊鐵路の敢闘譜
【一】

海拔一千七百米、ちやうど富士山の半ばに當る地點を驀進するわが國最高の高地帶鐵路が半島にある、白頭山の麓が長く突出すところ半島の屋根"白茂高原"を丁字型に落葉松と白樺の密林と高山植物の草原を縫うて走る"白茂""惠山"の兩線がそれである―こゝの從事員は零下數十度の酷寒と猛吹雪と闘ひ、高地帶特有の自然の猛威に挑みその勞苦は言語に絶するものがあるのだ、だが輸送戰士の誇りを持つ彼等は悩みを悩みとせず"戰力增強の路は我達が握つてゐるのだ"と、鍛成の冬として頑張り拔いてゐる、いよ〳〵酷寒期に入らんとする師走、記者は城津鐵道事務所長川野道之氏、咸興鐵道局厚生課長松田節生氏に案内され三日間に亙り踏破する白茂、惠山線を視た―寒い〳〵といつては居れませんよ、私達が此處に居なければ誰かゞ又私達と同じやうに此處に來て働かなければならないのですよ―と、朴訥にいつてのけた若い從事員の言葉を聽いて思はずハツと胸を衝かれた。恰も北邊の護りに戰ふ兵と勅せぬ將兵の言葉と同じであつたからだ、この信念、この決意、なんと敢烈な力強い言葉であらう、防寒帽の奥に光る眼と笑つた若く輝く輸送戰士の目が光つてゐた『第一線の將兵の心を心とせよ』といふ鐵道局がこの邊境の山岳地帶にまで徹してゐるのだ、都會も農村も漁村も決戰體制にあらためてこの輸送戰士の勞苦を偲ばうではないか

【寫眞】白茂の鐵路、白岩驛のクレーンに挑む戰士達

夏は極樂、冬は地獄
默々、吹雪に挑む戰士

―地獄と極樂の境がはつきりしてゐますよ―こんなふうに白茂、惠山線の一ケ年をこゝの從事員は表現してゐるこれは冬は地獄で夏は極樂といふ意味である、冬の猛吹雪と酷寒期が過ぎれば春と秋が一度に訪れるやうな夏となり高山植物や春と秋の花が一齊に咲き亂れ、この邊一帶はお花畑と變るのだ、從事員はこの夏の極樂を心待ちに冬の苦難を克服して行くのである

山岳線としての特異なこの相貌をみせる白茂、惠山線は朝鮮鐵道十二ケ年計畫中の線として鐵道技術陣の精鋭を動員し險峻な山岳を貫いたもので飛行機測量が國道に用ひられたのも此處の線路が嚆矢である、惠山線は昭和六年起工、七ケ年の日子と二千五十萬圓の巨費を投じ吉州から鴨綠江上流の要衝惠山鎭に至る〇〇〇粁餘の鐵路をいふのである

記者は未だ明けやらぬ午前四時半吉州驛に着き、惠山線に乘り込んだ、南大川に沿ひ溪谷を曲折しつゝ遡り午前八時過ぎ"白岩"に着いた"ガラ〳〵、ゴトン…"と木材を積み替へるクレーンの音が邊りのしゞまを破り雪を散らして作業を始めてゐた、こゝの驛は白茂線への分岐驛に當るため驛構内である白茂線の木材は一つ〳〵積み替へるのである、その手數と設備もこの線の大きな悩みの一つである、一、二月頃の酷寒いよ〳〵烈しくなるとなれば除雪のため作業を休止する場合もあるといふ、構内至るところには雪除けの作業が然と續けられてをり、特異なこの線の風貌の一端をみせてゐた白岩驛を發し更に溯ると事態の展望は明るく、咸南北の境界海拔一千九百米の黄雪嶺の嶮を突破し、そこに源を發する雲龍江に沿つて生長

原野里、茂山嶺などの部落を目下に眺め、南雪嶺の一支脈を穿つて大五島川の崖に出でその流れと共に鴨綠江岸に出て同十一時過ぎ惠山鎭に着いた

この間スヰツチバックや曲線隧道等を行つたり戻つたりするやうな感じを受けつゝ急勾配にひや〳〵しながら沿線の部落を目下に眺め吹き荒ぶ烈風と粉雪を意外に冷く感じいつまでもいつまでも山肌をみつめてゐた

落葉松の密林が限りなく擴がり驛にホップやケシの山畑が點々としてをり"なんと山のなかに來たものか"と、いふ感じであつた、正午過ぎ惠山鎭を發し"白岩"に折返したが、同夜、鐵道クラブで山岳線の險路指揮班として奮闘する川野城津鐵道事務所長を中心に白岩驛、機關區、保線區等の人々から"惠山""白茂"兩線に亙る地獄、極樂の現地の様相を聽いた（つゞく）（宮本特派員）

早起きと親切で
京城、一月の實踐事項

勝ち拔く新年の決意も新たに八日大詔奉戴日には百十萬府民擧つて清新な奉戴日行事に銃後總進軍の花を咲かせるが、國民總力府聯盟では行事要項及び一月實踐申合事項を四日府内各方面聯盟を通じ各町聯盟へそれ〳〵通達した

一、町聯盟　常會＝イ、一月八日（金曜）午前七時三十分常會開始（號笛合圖なし）ロ、特に本日に限り宮城遙拜を午前七時三十五分に行ふ（午前七時三十四分三十秒より同三十五分まで三十秒間號笛吹鳴合圖）ハ、出席状況を例により十三日迄に報告すると　ニ、申合事項別記の通り

二、各職域聯盟、學校聯盟＝詔書奉讀式を擧行すること

三、一般行事＝イ、各戸國旗を掲揚すること　ロ、官公署、學校、會社、工場等に勤務する者も町聯盟常會に出席すると　ハ、各方面に亘り一層職域奉公に努むること、但し享樂方面の業者は一層自肅の徹底を期すると

【一月の申合事項】

一、早起、感謝、總力戰＝大東亞戰爭第二の新春を迎へました皆様先づ早起、身心を淨めて總力戰に勇み立ちませう

二、物を大切にし、生かして使ひませう＝一粒の米、一杯の水にも尊い生命があります、決して粗末にしてはなりません、殊に今は戰時です、あらゆる物を大切にしてその生命を盡す迄十分に活かして使ふやう心掛けませう

三、お互に笑顔で親切を盡しませう＝親切は銃後の要望です、此の要望がくづれては立派な勝利は斷じて得られません、官と民を問はず各職域の人が假令どんな苦しい事があらうともいつも笑顔でがつちり組んで、互に助け合ひ赤心を披瀝し合つて、あく迄明るい氣持で此の大事な要塞をしつかり固めようではありませんか

"健兵の母"前奏曲
早くも始まつた國語講習會

"アイウエオ、カキクケコ"正月四日早や國語修得の道場は開かれた、國語が話せることこそ皇國の民としての第一資格だと決戰の新春を迎へ京城府鍾路町町會では婦人部、昨四日忠孝學院の一室で開講した

召さるゝ健兵のその日に備へて我先にと集つた愛國班愛國婦人達―三十歳より四十歳といふ婦人達は、きつと立派に話せるやうになつて見せますとの熱誠こめて、"アイウエオ、カキクケコ…"と勢ひこんで讀み返す、第一線勇士の勞苦を思へばなんのそのとばかり、火氣一つない室内で一心に講師の説明に聞き入つてゐる、五十音の明るい發音が健兵を生み出さんとする前奏として正月の街に響く講師も同町會高山總代、佳山副總代自ら國語普及の熱誠ぶりである【寫眞＝國語修得に勵む婦人達】

陣頭指揮
【4】
高安彦氏（京畿道知事）

「命令」と實踐―
指導者に不可缺

中隊長である私の甥の一人がいま大東亞戰のある戰線にゐる、最近その甥からの戰地便りの一節にこんなことが書いてあつた

"中隊長が突撃命令を下して眞先に飛び出さなければ良き戰果は得られないといふことを自分は幾度か戰場において體驗した、命令したまゝで中隊長がグズ〳〵してゐては兵の氣魄が乘つて來ない、そこで一番最初に走り出すのは自分だが、それでよし實に彈に當る率が多い、銃後の陣頭指揮もこれでやれば必ず効果が擧るだらう"

との意味が記されてあつた、偶然、甥が云つたこの教へは全く私の心をついたのである

私は現在銃後の部隊長としてこの中隊長の心を心としなければならないと思ふ指揮命令に唯命令だけを用ひてゐたのではいけない、それ相當に道民の心を心として指導をして行かねばならない、私は陣頭指揮の場合、自分の出來ないこと、不可能なことは決して命じない、そのかはり自分で實行が出來ると信じたらどしどしやる、また部下にも實踐して貰はねばならない、昨年末は生産方面にも成績をあげ得て非常に欣快と思つてゐるが、なほ各管下の府邑面について精査してみると、ある地方の如きは米の供出も貯蓄も百パーセントの能率をあげてゐるところもあるかと思へばまた五十パーセント以下といふ地方もあつた、これは指導者の陣頭指揮における熱意の有無、不足の差とみるべきだ、それは無熱な状態の部下の責任にもよると思ふが、やはり陣頭指揮如何の結果が數字に現れてゐるわけである、やらうと思へばやれぬことはない、ただ陣頭指揮といふ流行語に浮かされて踊に上つてしまつたのではいけない、しつかり足を大地に踏みつけて、指導者も道民も共に同じ道を歩むのだ、かくて道は邇きにあらず、近きに求め得られるのだ

府民の赤誠譜

限りなき戰捷の新春を寿ぐ元旦の佳き日、京城府國民總力部へ寄らされた京城府民の赤誠譜……▲五百圓、新設町五三番毛皮洋行淸水信秀氏ほか十三名▲百圓新堂町三四六ノ三九黃村濟一氏▲百五十圓本町四ノ三六佐伯殿太郎氏▲五十圓南山町三ノ三〇倉長三郎氏▲廿圓新堂町一四六ノ一二金森常爛氏▲五圓龍山國民學校高等科一年八組昭二君▲四圓同尋常科四年八組淑江さん▲三圓同一年八組正幸君

神宮詣で廿年
あの頃を語る宮本氏

おめでたう、サア新年の御挨拶はまづ神宮へお參りしてから申上げませう、大正十三年の朝鮮神宮御造營の日から、一日も缺かさぬ參拜

"あの頃はこゝに野砲隊のドン（午砲）がありましてな、京城の人達はそれで正午を知つたものです"

と明けて七十の宮本駿左衛門翁は雨の日も風の日も通ひつめた懷しい參道の石段をけふも登つて行く

明治四十四年京城へ來て本町一丁目に呉服屋をもち神宮朝參りを日課として、しかも朝食は必ず持參の汁附辨當を境内で攝げなければ一日の仕事が手につかない……といふ宮本翁は、今年で第廿回目の元旦を神前で迎へた

"夢のやうですな、はじめの頃は、半島人は頭を押してやらなければ拜禮はしなかつたが、今ではあの通り内地人と變らず熱心なお參りをしとりますわい"

宮本翁の述懐によると、午砲が退いて御造營となり、お宮が出來て三年後には現在のアスファルト參道も完成、僅かな内地人が正月ともなれば羽織袴で參る姿が遠く故郷の宮詣りを偲び出させた

"私は京都下京區菊屋町の生れで御所は毎日拜してをりましたが、神宮にお參りする度毎に京都を想ひ出します"

故郷の大宮を拜す氣持で神宮參拜をこゝに宮本翁の日參決意が生れたのだ

"はじめは半島の人も尠かつたが、滿洲事變からぼつ〳〵現れて、北支事變では俄かに激増しました、そして大東亞戰爭ではこの通りです"

同祖同根、勝ち拔くための決意を胸に、チマ、チョゴリが一億の心になつて日毎に增え行く神宮參拜の數を見て"朝鮮はよくなつた"と老人は廿年前を回顧するのだ、そこには一視同仁、聖戰の下に嘻々として參る半島同胞の姿が玉砂利を踏み鳴らし、決戰の春の祈りが捧げられてゐる、今年で廿回目の元旦を神宮境内で迎へた宮本翁は、今は前線に在る長男、次男の二子の武運めでたけれど心に祈りながら、ゆつたりと參道の端に腰を降してひとり雜煮を祝ふのであつた

三法院の御用始式

三法院御用始式は四日午前九時廿分から大法廷において擧行、決戰新年を迎へて本年の遵法指導に臨む覺悟をかけ增永高等法院檢事長の訓示後「聖壽萬歳」を三唱して同十時終つたが、式後は直に平常通り執務に入り事務刷新の實を示した

朝鮮みやげ　製作直賣　パカチ工藝品　本町入口　大和軒

異動は洩れなく申告
戸籍、寄留屆出の强調週間

京城府では戸籍及び寄留簿の正確を期するため一月から戸籍寄留屆出强調週間を設定し半島在住者の皇民化運動に拍車が掛けられることゝなつたが、愛國班では確實にこれを斷行するやう國民總力京城府聯盟では四日各愛國班へ通達した、實施期間は毎月八日から十四日まで一週間

一、班長は毎月十日の常會に於て班員の出生、死亡その他出入異動の有無を調査し戸籍及び寄留に關する屆出をせしむること

二、屆出人は府戸籍課または府出張所に出頭し用紙の交附を受け適當に記入の上提出すること、役所の係員に無料代書して貰ふこともできます

三、戸籍寄留の屆出につき種々困難な事情があるものは府戸籍係または府出張所に出頭してよくきゝたゞすこと

四、班長に於て無屆出と推定されるものがあつたら區、町を通じて報告し府または府出張所の指導を受けること

釜山の火事【釜山電話】

四日午前零時廿五分ごろ釜山府草梁町六一九鐵突紙製造業竹島永富さん方から發火、折柄の烈風に煽られて火勢物凄く附近總動員の危險に瀕したが、釜山消防署員必死の活動により全焼十一棟十九戸、半焼二棟三戸に止めて同三時卅五分漸く鎭火した、損害十六萬七千餘圓、原因は製造中の煙突紙乾燥のため煙突を焚き過ぎたためである

特急話題

☆…ピツバーク米電＝オハイオならびにサスケハナ兩河の氾濫は愈よ甚だしく遂にオハイオ、ウエストバーヂニヤ、ペンシルバニヤ、ケツタツキー、インデイアナの五州に及び洪水による被害は莫大なものに上るものと見られてゐる

☆…フイリング市（ウエストバーヂニヤ州）では浸水家屋二萬二千戸に及びプリマス市（ペンシルバニヤ州）の目貫街では浸水五呎に達してゐるといはれる【アエノスアイレス發】

【續きもの「アリユーシヤン防備の春」は四面に掲載】

ねつとせきには　美味　珓源（カイゲン）　お茶でのむとよくキキます　（各地甲子會社薬店に有）　價　三〇・五〇・一〇〇　大阪市道修町三丁目　株式會社中國武商店　東京市室町　神戸市栄町

大空から戰捷の便り　旅桑萬年筆　KB

仁川廢品更生組合　電話五三二〇
古物安全器手易　門倉公司　門倉佑助　電話五三三九

久國上井長院　井上内科　昭和通ロータリー　電本1951

亡國病（淋病）治る　佐藤療院

京城實踐簿記學院　第三期生隨時募集

モーターサイレン　各種サイレン　株式會社精工社製作所

昭和工科學校　募集人員七木、建築、鑛山、機械四〇〇名

東洋音樂學校　男女生徒募集

株式名義書換停止公告　昭和十七年十二月二十一日　日本放熱器工業株式會社

行け南方共榮圈へ大陸へ　大日本海外靑年會

新しい頭痛藥　づつうにサール　づつうにサール　づつうにサール　づつうにサール　三共

陸軍省監修　大東亞戰記　戰爭が如何に計畫され準備せられ而して如何に遂行せらるゝものかは國民の等しく知らんとして知り得ざる處であつたが、本書に依つて吾々は大東亞戰爭の作戰の實相を明確にし得るのである。本書こそ戰爭の企畫と指導に當つた參謀及び部隊長の報告書であるからである。　東京市神田區錦町　誠文堂新光社

馬車　乘合馬車・自家用馬車・配給馬車　御照會ニ上呈早書積見（各種在庫あり御高覽を乞ふ）　元賣發　合名會社　合成工作所車輛部　元造製　合成工作所

お乳の出をよくする　美味錠劑　ビオレンバー

淋疾にゴノファミン

胃腸がわるく困る方はトモサンの吸著療法を

ここも戰場だ　朝鮮取引所　朝鮮取引所取引員組合

パピリオ　クレーム三種、ＡＢとＯあり。粉白粉十二色（新しい肌色四種）ほゝ紅十二色　口紅八色　東京麻布本村町伊東化學研究所

米英撃滅へ總進軍　東洋鑛産化學株式會社

感冒肺炎の濕布療法に　資生堂のビタハップ　五〇せン

アリューシャン防備の春【四】

情緒偲ぶ「江差追分」 輸送船にもこの苦闘

湖畔の丸太小屋

ミッドウエー島と同じ東經百八十度の日付變更線に在るこの鳴神島は、「眞珠の頸飾」のアリューシャン列島では恰度眞中、地球の喉笛に當る位置にある「ト」の字型の火山島だ、地貌は熱田島とほゞ同様氷河に削られた晉年期の山嶺が海岸近くまで迫つて居り、島の眞中にある標高約七百米の「鳴神富士」は四時雪を被つた綺麗な圓錐形だ、山裾を海に向つて流れる小河、谷河には夏は岩魚女、鱒、秋季は紅鱒の溯るので壯觀だといふ

これも熱田島と同じだが、たゞ夏は高山植物がツンドラを飾るのと、冬は勇士の祝盃に留鳥が時たま訪れるが、人間の恐しさをまだよく理解しない青狐が飄逸な足取りで幕舍附近をうろつき廻る景物のある代りに敵に近いところから爆擊が一段と猛烈なのが異つてゐる、火山島だから何處かに隠れて湧出してゐる温泉はあるまいかと探して見たが、未だにそれらしいものは發見出來ないさうだ、氣温は零下二三度程度、熱田と同様備南の烈風さへなければ黒潮の暖氣を吸收して内地の東北地方よりずつと凌ぎよいやうに感じた、この島も以前はアラスカ、シヤトル邊りから夏季出漁に渡つて來る漁師の假泊地で、鳴神富士山麓の小沼の畔りには、彼等が時化ときに憩ふ小さな丸木小屋が三軒あつたきりで、中を覗いても鼠一匹出て來ない空屋になつてゐる

北洋の雪山を背に元氣な海の勇士
武田海軍報道班員撮影=海軍省許可濟五七一號

霧の中から江差追分

午前三時の日の出から十三時の日沒まで、延擾敵機は日にかかさず十數機は哨戒爆擊に來る執拗さ、不毛の、しかも敵に曝してはならぬこの戰略的重要地點に壕を掘つて僅かに身を伏せ、時至るを待つ將兵の苦衷、深いガスの晩に、堂々進駐して來た友軍艦艇を大歡のうねり砕ける〇〇灣に迎へて、現地將兵は心から感謝する記者らの言葉に何も語らず「不自由なものはありませんか」と訊ねても「は、別に」と言葉を切るだけ、眼光爛々として輝くばかり大きく捕れるのも熱田の將士と寸分變りがない、一夜壕内にまどろんだ記者の枕邊に、遙かなる海の彼方、故郷の、冬の夜長を偲ぶ情からであらうか、岩角に立つて霧の中の波間に投げかけた一兵士のさびのある江差追分が餘韻嫋々と聞えて來た

壕の中に盡忠報國

壕の中は思つたより住み好い、富士の石室を窪地の中にはめこんだやうな形だ、室内には糧食の函材を利用して器用に設へられた神棚、勇士等みの額ぶちには「盡忠報國」の四字、高島「深山きんぽうげ」に似た高山植物の一輪を飾つたのであらうか、花瓶の一つは、いま重立に代へられてゐる、内地からの距離が長ければ長いほど、物資輸給の不如意は覺悟しなければならない、熱田島より物資に乏しいこの島では一塊りの石炭かけらでも所持して金塊のやうにしてゐる「故郷兵器ですか」關西生れの一兵曹がストーブの中を覗きながら記者らにかう問ひかけた

「いや武運拙く來る時も到々食はずじまいですよ」

「いいものぢやありませんね、しかし明日は充分見られるでせう」

占領直後から極く最近まで、米機はところきらはず、手當り次第に大型爆彈を落して行つたが、それが遂に上空からの水平爆擊による盲彈、ひどい時は雹が降るやうに見えたといふが、大半は低空に舞ひ下つて來て島の周りをぐるぐる廻り虻がつきまとふやうなベーリング海の鮭や鱒を驚かす役目しか果さなかつた、近頃では低空爆擊を重ねるだけださうである、彼等の目標は矢張り島に近づく艦船と、勇士らが一日も早く仕上げるために苦鬪してゐる整備作業を妨害するにあらしい、最近島の沖合で、空襲と潜水艦に悩まされながら、空手空拳敢然これに體當りを喰はせて死鬪してゐるわが輸送船〇〇丸の戰鬪を壕の中から望見した勇士の幾人かは、我を忘れて壕から躍ひ出し釣瓶打ちに砲を撃つて敵機を追ひ拂つたといふことである

「船員の勇敢なのには泣かされましたよ」

と獨々語る、時化るときは僅か〇節しか出なくなる遲鈍な船海で、しかも石炭の煙を黑々となびかせながら堂々進航するわが日の丸船の壯烈さ、孤島で勇戰する皇軍將士の身を案ずればこそそれにしてもそんなに跳梁する敵機を何故落さないのか

「いや、やれば何でもなく面白いやうに落ちるんですが、彈丸が惜しい」

まつたくかうした狀態では、決して補給が充分だとは言へない、何時でも最悪な場合を顧慮して置く必要があるのであらう

敵機に搭乘員の顔

次の日も、その次の日も深いガスで、窪みにして居た敵の目觀には見参出來なかつたが機影だけははつきり見た、東京空襲のときチョツと見たノースアメリカンの二五だ「キンキン」と鈍い金屬性の爆音を響かせて、ガスの中から和でも縫ふやうに針の先をのぞかせるのである、鳳風な尾翼の二枚がはつきり立つた奴、敵機にブツける危險があるので遠くを飛んでゐるのだが、分厚な防彈ガラスの背越しに搭乘員がしきりと動いてゐる

ツンドラの上に雪の積つた壕道を辿つて醫療部隊の壕も訪れて見た、狹い小さいこの島に勿體ない位な豪壯(?)な構へで、立派な軍醫さん方が無聊に苦しんで居た、極北の地に越冬するのは開闢以來の經驗である、風邪、凍傷、壊血病など續出しはすまいかと軍の至れり盡せりな心遣ひが杞憂に終るのではないかと思ふ程患者が殆どいとのことだ(をはり)

"日本"究明に大童 活氣横溢の"南の國"

ハノイ叢談

佛印平和進駐より早くも二年、共同防衛の足並もいよく高く、ハノイは今、同甘共苦の共榮感が日増しに濃くなつてゐる、既に開かれた日本語學校では、佛領のフランス娘も安南娘も年と机を並べて、眞珠灣以來飛躍して世界を驚倒させてゐる日本の、眞の姿を究明しようと眞劍な態度を見せてゐる

それればかりではない、ハノイの町で買物をするには、もう日本語で大丈夫用が足せる、觀光部で、兵隊さんが堂々と鼓鞭してゐる姿など實に心強い想ひがする、街路の騷めきなどもどこで覺えたのか拔け目なく日本語を交へる

由來ハノイの騷めきはレストランの窓ごしに、街路から酒を笑込んで、うるさく靴を磨かせろと喚いたりするが、日本人だとみると「ゴセン、ゴセン」と料金を吹鳴と云つた駭魔もみせる

どれも、一概に商賣上手に片づけてしまふことはできない、それといふのも、日本軍進駐の時に、水田の中から立上り取組るやうにして、歡迎の心を示した安南人の、あの純樸の情が思ひ出されるからである

我が方の宣傳もいよいよ軌道に乘つて、放送も新聞も、わがニュースで埋めつくされてゐるが、大衆の人氣をさらつてゐるのは毎週のやうに上映される日本ニュース映畫である、この外、雜誌「フロント」創刊號の帝國海軍特輯は、安南語で解説された寫眞を主としたものだけに、驚異的な好評を博し、八、九十錢の日給の安南人が大枚一円を投じてゐる姿も、日本の人氣を反映してゐる

さてハノイの街は、最盛期のフランスが七十年の歲月を費し、その趣味にまかせて作り上げただけあつて、實に美しい、空からみると綠の間に點々と建物が見える、その建物がまた、我々には思ひも寄らぬ赤、ピンク、クリーム、セピア等々、派手なとりどりの色で塗られてゐるのである

街の中央にプチ・ラック(小湖)があつて、ハノイの街に一しほ風情をそへてゐる、大きな樹陰の下を行き交ふアベックのフランス人の派手な裝ひ、その間を點綴する安南女の平安女朝のやうな笠の紐が赤く鮮かで、華僑の支那服と著しい對照をなしてゐる

プチ・ラックはハノイの街をはつきり二つの部分に區切つてゐる一方がフランス人街、他が安南町である、フランス人住宅街の贅い立派な街路、亭々とした熱帶樹の並木、立ち並んだ瀟洒な邸宅、そこをサンダルに輕裝のフランス娘が、自轉車をすいすいと飛ばしてゐるのどかな風景がある

この街のはづれの一角に、椰子樹や椰樹を背景に屹立してゐる白いどつしりしたルネッサンス風の建物が市立大劇場で今尚も昔らに大フランス帝國の名殘りを止めてゐる趣きがある

ハノイの下町は、プチ・ラックを隔てた安南人町である、裏町も隈なく鋪装されてゐるが、晝んでは吐きすてた檳榔樹の實で一面に汚れてゐるその上を歩く安南下駄のカランコロンといふ響き、或は遠く或は近く聞える村祭の太鼓の音、子供の本を讀誦する聲、一日の緊張をホテルの一室に解かうとしてゐる旅人には、餘りにも内地で聞くに似た物音に、淡い郷愁にさそひ込まれる

また自轉の跡も乾かぬ路上を、タヒタと歩む物賣の足音は、安南人の境遇を象徴してゐる如く南方民族の現狀に感じやすくなつた旅人の哀感をそそらずにはゐない

十六歲で先生 二種教員に見事合格

【江界】大東亞十億の指導民族として君臨する榮ある日に備へその錬成に総力を集中してゐるの秋、教學朝鮮の民力を彌が上にも誇示する事實として平北江界南山國民學校に躍る凱歌―南山校高等科を今年の春卒業、教育奉仕を志し今母校第一學年二部教授組の助手をやつてゐる和山大德君は去る一日から十日間新義州で施行した國民學校三種教員試驗に應試、翌年十六歲で堂々五百餘志願者の大人に伍し優秀な成績を以て百三十五名の合格者に列した、十六歲の少年教員とは稀な朗報で是は單に南山校の喜びばかりでなく實に教學朝鮮の一大慶事である

西貢の見本市博覽會

新春から開催された西貢見本市博覽會は一日數萬の見物人が入場押すなくの盛況であるが特に日本館の人氣は物凄く安南の市民は日本の製品に目を奪はれてゐる【寫眞=人氣を呼んだ日本館の日本商品に見入る觀衆】

科學の殿堂 一般に開放

【咸興】科學する若人達の"學びの巣"北鮮科學博物館は昨冬から一般に開放したが、これは今までも科學研究の態度をもつて正確、清潔を保ち、機械の使用やその他利用方面については係員の承認を要するやうな事ではなく、なほ一般開放による入場料は左の通りである

▲大人一人一回五十錢▲小人(六歲以上十二歲未滿)一人一回二十錢▲團體(二十名以上で責任者引率の團體)一人に付十錢▲軍人軍屬は一人一回廿五錢

大いなる祭【28】

中野實(作) 三芳悌吉(繪)

白旗(四)

總を廊下に待たせておいて、彼女は、素早く支配人のフロイスの部屋に飛び込んだ。フロイスは、彼女の報告を聞くと、默つて一袋の鍵を彼女に手渡した。

「それから、これを」

鍵袋と一緒に、フロイスから美榮に手渡されたものは、アルメイダの命令書だつた。彼女は封を切り、刺すやうな眼で讀み下すと、默つて頷いて、ハンド・バックの中に納めた。

「すみません、待たせて」

美々は階段を馳け下りながら總に聲をかけたが、彼女の眼は油斷なく彼の動靜にそゝがれてゐた。

「今日は一人なの」

「あゝ」

外套の衿に顎を埋めた總は、美榮と腕を組んで歩き出しながら、

「みんなを撒くのに苦勞をしたよ」

「何故?」

「だつて、二人つきりでゐたいぢやあないか」

「かうしてあんたと二人つきりでゐられるなんて、あたし、さつきまで夢にも思はなかつたわ」

街角まで來ると、總は待たせてあつた自動車へ美々と一緒に乘り込んだ。いくつも通りを曲つて、やがて自動車が横付けになつたのは、白堊の瀟洒な建物で、大東公園に近い結合の、宏壯な別莊風の洋館の前。總はさきに自動車から降りたち、美々の手をとつて、玄關の扉をあけると、右側の客間へ案内した。

「どうだい。戰勝者にとつては、門の鉄柵をあけると、

「さ、女王様、どうぞ」

と笑ひながら美々にいつた。足もとがふらふらするほど酔つてゐる。

「大丈夫?」

「大丈夫だよ」

すこし外際ないくらゐの部屋だらう」

「まだ信じられないわ」

「は……どうも女は疑ひ深いな」

「廣東のお客さまつてどこにいらつしやるの」

「お客なんかどうでもいいぢやあないか」

と總は美々をひきよせて、

「さ、今夜こそ、二人きりだ。召使の者もゐないよ」

「何處へ行つたの」

「みんな遊びにやつたのさ」

「あたし、いや」

「なにがいやだ」

「だつて、あなたは何をしていらつしやるか判らないんですもの時々リスボンへいらつしやるお客さまだつてことだけで……」

「それでたくさんぢやあないか」

「いやだわ。そりやあ、あたし、あなたが好きよ。けど、あたし…」

「つまり、僕の商賣を訊きたいんだね」

「えゝ、さうよ」

「さうか」

「夫婦になるのに職業なんかあつたりしたらいけないかな」

「さうだ。ぢやあ、云つてやらう」

「えゝ、どうぞ」

ラヂオ 5日

朝 七・〇〇御製謹誦(錄音)「桃園天皇御製」「仁孝天皇御製」稻川忠一 2「大東亞文化の建設」武內義雄▲八・三〇米英殘虐の跡(鮮語)玉岡錫珍▲九・〇〇大東亞の正月(大東亞各地より)▲一〇・〇〇管絃樂ベートーベン作交響曲第九番二短調(日本交響樂團)四家文子、木下保ほか(合唱)日本放送合唱團

晝 〇・三〇合唱「大東亞讃進軍」ほか名古屋放送合唱團(伴奏)名古屋放送管絃樂團▲一・〇〇吹奏樂戰士慰安會(日比谷公會堂より)1吹奏樂「皇國の精華」ほか日本管絃樂株式會社吹奏樂團 2おとしばなし「しやこ」柳家權太樓 3歌と管絃樂、前奏曲「放送日本」國民合唱「世界の果てまでも」「軍歌集」他八曲(獨唱)奥田良三(合唱)日本放送合唱團(ピアノ)和田肇(管絃樂)東京放送管絃樂團

夜 六・〇〇シンフォニー 2「新年の東亞少國民」青山師範附屬初等科六年瀬古學勇ほか東京、新京、北京、南京、マニラ、ジャカルタ、昭南より▲六・三〇三曲「稻山獅子」菊原琴治ほか▲七・四〇「生產の計量と國民の覺悟」造船統制會長斯波孝四郎▲八・〇〇舞踊中繼―眞山青果作―井上正夫、山口俊雄、山田巳之助、三島雅夫ほか▲九・〇〇(鮮語)特輯演藝の夕―新作才談「新春」孫一東ほか玉寶花(伴奏)京城放送室內樂團、3短篇劇、卜惠淑、金素英ほか

イチバン新しい中學講義錄

◎半島獨學青少年のよろこび
◎一年三ケ月で中學全科卒業

▲中學講義錄で獨學勉强するなら文部省中學校令により、僅か一年三ケ月の特急スピードで中學校の全科を卒業せしめるといふ、最新中學講義錄が一バンよい。

無學は男の恥
今から大に獨學勉强しませう

▲入學すると東京一流の中學校の先生方二十五名が指導を擔當し、入れて親切平易に講義された三百二十頁もある中學講義錄を毎月半數の諸君に配本して勉强させ分らぬ處は何十回でも分るまで質問に答へグングン學力をつける仕組でこの他いろいろの特典もある。

▲されば國民學校卒業後上級の學校に行けないで悶々としてゐる有爲の獨學靑少年諸君には家業の傍朝鮮の自宅獨習で中學が卒業できるの…を惜しても學費と時間に惠まれぬ…で實にこの上もない獨學成功の機關である。併も學費は一月僅か一円五十錢といふ低廉さである

▲社會に出て成功するにはどうしても中學程度の學力が必要だ殊に際職日本に生れた僕達に無學は大禁物。されば嶄しい戰勝の新年から內容の一バン新しい學費の安い、しかも內容の一バン早い內容完全備のこの最新中學講義錄でウンと勉強し、將來立派な皇國民となりませう。

見本一冊進呈(ハガキで左記へ申込めば入會案內附見本一冊郵代で進呈します。)(日下新學期講義員募集中です)

東京市牛込台町十七 東京豫備學校

中野高等無線電信學校

本科(中卒程度)・別科(二年卒程度)・速成科 … 無試驗入學 … 東京市中野區江古田

靴を丈夫にする
サンエッチ靴クリーム

不眠 便秘 酒毒
リキシン
腦溢血予防に
病氣の原因となる濁り血を淨化して血行をよくするので、高い血壓も自然に下り、頭重、目まひ、肩こり、耳鳴り、不眠、便秘等が治り、腦溢血を豫防す。また酒の前後に服用すれば酒毒を消して二日酔や惡醉を豫防する。
イマヅ

わきが
自宅新療法 無代進呈
日本醫藥研究所

第九回決算公告
[illegible]
內鮮鑛業株式會社

大阪唯一製粉機專門工場
丸久式製粉機
手廻製粉機 動力製粉機
久保田工業所 大阪市東區

戰捷の陰に通信機
NEC 日本電氣株式會社

第六回決算公告 朝鮮川崎商事株式會社 [illegible]
第參期決算報告 朝鮮川崎鐵網株式會社 [illegible]
第參期決算報告 成歡鑛業株式會社 [illegible]
第拾七期決算公告 [illegible]
合資 朝鮮合同木材株式會社 [illegible]
商業登記公告 [illegible]

戰ふ力を作らう
生産だ擴充だ 貯蓄だ總力だ 今年も頑張らう、勝ち抜くために―― 僞ならオソが引受ける
オソ本舖

公益 製粉機と粉碎機 優先
チルドロール製粉機 高速度粉碎機
製造發賣元 土井正機械製作所

すべてを戰爭へ
日本碍子株式會社京城出張所
日本特殊陶業株式會社京城出張所

家庭温泉藥
シロラクヂン
神經痛、胃腸病、婦人病、腺病質、ロイマチス、痔
行水の一浴は夏季の皮膚病あせもたゞれを防ぐ
盛大堂製藥所

パッキング
石綿板 ジョイントシート スパイラル エキセイコイル アスベストヤーン メタリック
朝鮮アスベスト工業株式會社 特約店
湯澤商店パッキング部
京城府大島町五番地 電話龍山(4)1905

中央劇場 日本ニュース 文化映畫 感激の一夜 蒙疆の密使
若劇 ニュース 戰ひの力 伊那の勘太郎
喜樂館 日本ニュース 愛育の村 萬オタクシー 破魔傳奇
京城日鐘路文化劇場 高協公演 春は上海に
東洋劇場 青春座 大地の母
朝日座 花山演藝團
京龍光化劇場 ホームグラフ 漫畫義經物語 樂屋風景 日本ニュース
新富座 日本ニュース 農民歌國の幸 迎春花
桃花劇場 日本ニュース 一宮學園 マー坊の大陸宣撫隊 希望の青空
浪花館 ニュース 文化映畫 秀子の車掌さん 劍光櫻吹雪
大陸劇場 朝鮮樂劇團 山 燕のくに 華やかな舞曲
京劇 日本ニュース 高原農業 成吉思汗
城寶 日本ニュース 掟子と地球 九段の母
和信映畫館 ニュース 文化映畫 伊那の勘太郎
明治座 日本ニュース 千木ある町 我が家は樂し 電撃二重奏
城南劇場

夕刊　京城日報
發行所　京城府太平通一丁目三十一番地　合資會社　京城日報社

先づ實践、難局を突破
大衆指導に愛の鞭を以てせよ
小磯總督、烈々の訓示
本府御用始式

決戰の意氣昂然たる聖戰第二年の新春を迎へた總督府では四日午前十時から總督府第一會議室で御用始式を擧行した、小磯總督はじめ各局長以下全職員及び在城第一次所屬官署の長等三千餘名參列、開會勅語奉讀ののち小磯總督は次の如き烈々たる實践意欲を盛つた火と燃える訓示を行つた、即ち第一修養錬成の徹底的實践、第二生產戰力の決勝的增强、第三庶政執務の劃期的刷新の三大項目に分ち述ぶる所道義朝鮮確立を希求してやまない凛然たる決意を細目に亘つて説き、その所説の明確さ、方向の的確さにおいて着任最初の知事會議席上における訓示の抽象性より更に進んでより具體的かつ總てを實践に移さんとする强い信念を吐露したものである、しかも所論の基底をなすものは烈々たる國體本義の透徹であり、吏道刷新を强調して止まないものであつたかくて約一時間に亘る總督の決戰訓示ののち宮本法務局長が參列職員を代表して『一意專心吏道刷新を勵行し總督閣下の命を受けてまづ實践を第一におきこの未曾有の時難を克服最後の勝利を獲得せん』との固き決意を籠めた答辭を述べて御用始式を終了した

總督訓示要旨

對米英宣戰の大詔を拜してより既に一年、大御稜威の下忠勇無双なる皇軍の赫々たる戰果と、堅忍不拔なる銃後國民の涙ぐましき奉公とにより曠古未曾有の大戰果を收め、茲に昭和の十八戰勝第二年の新春を迎へ、謹みて聖壽の萬歳を壽ぎ奉ると共に、明かに朝鮮の方に貢獻すべき所以を具示し、相共に必勝の信念を新たにして、聖戰の完遂に邁進するの決意を更に牢固ならしむるを得ますことは本總督の最も欣快とする所であります

明々朝鮮統治の大本は、夙に聖旨に昭示せられ、歴代總督亦聖旨に基き幾多の政綱政策を掲げて殆ど餘蘊なし、從つて本總督の責務は、總てこれを踏襲し、力を現下における時局要請の一點に集中しつゝこれが實践を强化し、特に興くに國體本義の透徹を以て道義朝鮮の確立を期するにありますことは、着任以來半歳の間機會ある毎に高調し來れる所にして、諸官既に熟知の通りであります

乃ち、聖諭に基く朝鮮統治の大本を奉行すべき根本的理念は之を國體本義の透徹に求むべき必然性に關し、今や概ね道内に徹底周知せられたるべきを以て、茲に此の年頭に方り時局に即應して本理念を實践すべき要綱を具示して、敢て諸官の奮起を促さむとするものであります

而して特に時局に即應する必要を强調する所以のものは、大東亞戰爭下の戰局が、決戰に次ぐ決戰の形相を呈し來り皇國日本は彼敵米英がその豐富なる資源と强大なる生產力とをたのみ、大東亞總力戰圏を基盤とする皇國總力戰力の增强が、彼等を凌駕するに先立ち一氣に勝敗を決せむとする魂膽を集結してその企圖を完全に粉碎する爲に氣魄を新たにして奮闘を要するが故に外なりません、就中大東亞戰中核的存在たる皇國日本の領域中、最も重要なる一環を爲す朝鮮においては取りわけ物心両面の備へを速かに完整して見事米英の意圖を粉碎する爲に貢獻し、畏くも昨春伊勢皇大神宮に戰勝を御奉告遊ばされました　天皇陛下の有難き大御心に應へ奉らねばなりません

今般實践の要項を披瀝すれば概ね次の通りであります

第一、修養錬成の徹底的實践

道義朝鮮の確立が、各職域に在る二千四百萬の大衆悉くに對し皇民錬成を加へて、眞に國體の本義に徹せしむることに依り初めて其の全きを期し得べきことは、今更茲に申す迄もありませぬ、從つて歴代當局の適せし諸政策も、凡て皇國臣民錬成の眞面目に徹してこそ、初めて當局施策を完うする所以たること亦喋々を要せざる次第であります、志願兵制度の試煉を經て將に徵兵制實施せられむとし、初等教育義務制の進捗に伴つて、近く義務教育制の施行せられむとする今日、皇民錬成の各種制度機關を增强して、之を組織化し、最近改組成れる國民總力朝鮮聯盟の機構と有機的に邁進せしめて、其の官たると民たるとを問はず、凡てに對し皇民錬成を强行實践することは、蓋し現下喫緊の要務であります、實に皇國臣民としての錬成無き徵兵制、國體の本義に徹せざる義務教育制の如きは魂なき骸に過ぎぬのであります

特に國家總力戰たる近來戰爭の特徵と致しまして、思想戰、經濟戰は今後益々熾烈を極むるでありませう、故に、飽までも擊つて敵を挫くし、必勝の信念を把持して微塵も敵に乘ぜらるるが如き精神的間隙なきを期し本年不幸にして起つた旱水害に因る食糧の不足を初め、對米英決戰完勝の爲必然に邁進せらるる諸物資の缺乏に耐へ而も精神物質両面の勞務を强化して次に述べむとする生產戰力の增强を急速に敢行致しますが爲にも、皇國民錬成の即時徹底と之に因る官民全員の鞏乎たる臣道の實践が絕對不可缺の條件たることを深く銘記せねばならぬのであります、是を以て本年劈頭以降既設の制度機構に必要なる改廢充實を加ふると共に、新機構をも設けて其の錬成の徹底に邁進する覺悟であります、仍て諸官は率先して新たに設けらるべき官吏錬成の道場に依然として勇躍參加し、皇國臣民としての錬成を向上完成し、以て一般大衆皇民錬成の範となり、範を一世に垂るゝの覺悟を固められむことを要望致します

第二、生產戰力の決勝的增强

大東亞戰爭第一年において、早くも皇國は大東亞における敵の戰略據點を悉く我が制壓下に占領し、戰爭遂行上必要にして十分なる資源要域を完全に我が掌中に收め、茲に必勝不敗の態勢を確保し、大南洋を含む皇國經濟各要域の建設日に月に目覺しき進展を見せ、大東亞共榮圏の前途は眞に洋々たるものがあります、然しながら前述の通り我が經濟戰力の增强に先立ち、長期戰を策して一擧に離隔を決せむとする敵米英に對しては、我は現有資源の總動員と、生產戰力の急速增强とを完遂し、敵の意表に出で、その企圖を全面的に粉碎し、以つて大東亞世界の宿敵米英を擊滅し完勝による平和完成の一日も早からむことを期せねばなりませぬ、今日急速增產のため敢行すべき要目を擧ぐれば概ね次の通りであります

一、食糧　食糧の增產と確保とが、朝鮮の發展それ自體の原動力たるべきは勿論餘剩を以て内地、滿洲、北支の不足を補塡して、共に聖戰完遂に寄與する緊要政策たる所以に關しては、本總督着任の當初に於て既に闡明せる所にして、同後更に農地開發造成の積極活動、既行水利施設の增强及び農村再編成の企畫等と相俟つて米、雜穀、芋類其の他の主食物及び食肉、青果物其の他副食物の急速なる增產貯藏に邁進せしむことを期して居ります、若しそれ茲にいふ農村再編成とは、各種農民が共に農民道場訓練の振興と相俟つて明朗喜悦の裡、徒勞を除去し、生產過程上の聯絡を圓滑にし、各種適性耕作に勤勉勞務して、專ら增產の目的を達成せむことを期待するものであります、時局上必ずしも急要とせざる社會政策上の改善事項はその實施を後日に求めむとするものでありますなほ食糧以外の農產として纖維の改良增殖を實施の豫定であります

二、工鑛業　半島における工鑛業こそは、生產戰力急速增强の主目標であります、前述食糧の增產確保も實は一面において本目標に到達するための必須條件であるとみるべきであります、工業生產の原動力たるべき電力および石炭に關しては今日以後特に統制方式を適正に改編强化してこれが豐富低廉なる供給と事態即應性の整備に致し、特に輕金屬工業の發展を期するの外無煙炭燃料利用の普及を圖り、以て聯繫增產の一助とし、既に成功せる無煙炭製鐵及小型製鐵の增設を急ぎ、以て鐵鋼の增產を圖り、振興兩面の合併を機として之が運營を强化し、以て重要鑛物の急速なる增產を圖る等凡ゆる障碍を排除して增產を期し、大東亞戰爭下の一切の新なる企畫は、凡ゆる點に於て半島の地理的優越性を發揮し、朝鮮の決戰產業的使命遂行に、些かの遺憾なからしめむことを期するのであります

三、交通　我が朝鮮は、内地と大陸とを繫ぐ唯一の大道であり海を隔てては支那及び遠く大南洋に相望み、皇國戰力增强の要衝に位するのでありまして、朝鮮陸海交通の非常態勢を速かに整備增强し、その緊密なる連繫により、大東亞總力戰の全面的戰力の增强に致し、以て對米英決戰の完勝に寄與するは之亦現下喫緊の要務でありまして、既に戰時陸運非常體制要綱の趣旨に則り各種の委員會を結成し他面海運に關しては、朝鮮において可能なる總ゆる施設の建造に全能力を動員すると共に、更に資材の擴充を敢行して之に專念せむとして居ります、諸官克く此間の消息を諒知し物資の敏速なる大量交通に遺憾なきを期せねばなりませぬ

四、經濟統制　諸官は又資金の統制、企業の許可、勞務の管理、物資の配給、價格の公定等一聯の統制經濟が企圖する眞目的に深く思ひを致し、その運營の圓滑適正化に萬全を期し、以て戰時經濟に輝かしき希望と光明とを與へ、生產戰力の決勝的增强に貢獻する所至大なるものがなければなりませぬ

第三、庶政執務の劃期的刷新

惟ふに朝鮮の統理に於ては、諸官の補佐が宜しきに依り立案せられたる本總督の企圖方針が官界の秩序を重んずる諸官の事務的處理を通して行政各機構の末端にまで迅速的確に浸透實践せらるゝを以て、最も切要と致します、宛も有機的人體の構造における四肢が腦神經の指命に依り秩序をもつて而かも即時敏速に活動するが如くならねばなりませぬ、然るに朝鮮の現状は腦神經の故障か將た四肢の麻痺か、本總督の企圖方針が官に浸透實践十分ならざるのみならず、行政の末端に於ては往々秩序を紊し現實を無視して歪曲敢行せられ、甚だしきは必然四肢において移紊を感ずべき苦の側面も、腦神經において無感覺なるが如き事實を顯呈するの遺憾があります、而かもこの缺陷病根は各職域にある官公吏が自己の反省修養により之を治癒除去し得るものにして、第三者たる醫師の投藥手術等に俟つは甚だしき不名譽的行爲とする所であることを銘記せねばなりませぬ、本總督が道知事に對する訓示において、吏道刷新に關し上意下達、縱橫の連絡協調及び下情上通の三項に分ち說明せる内容を更に再讀せむことを諸官に望みますと共に、年改まるに方り監督者の實を擧げむことを强く要望するものであります

顧つて職政施措の繼續に至つては、時勢の變移と民度の進展とに應じ、自ら宜しきを制すべきものたることに關し屢時訓示し來つたのでありますが、之を本府における執務の跡と、地方行政各部面における實績とに依り檢討するに、吏僚その他指導的地位に在る者の大衆に對する態度に於て自責的努力と、大愛的思念とに缺くるもの多きは、蓋し半島政治の精神的缺陷なりといはねばなりませぬ、小乘的なる自我感情の發露する所、自己の責任分擔業務の遂行を忽諸にし而かも權勢を借りて無辜を苦しむると、安價なる濫情を以て非道を看過するとは、共に行政を紊亂しかつ却つて自らを傷くるものであります、自己を律すること正直勤勉なる者大衆の敵意による過誤懈怠等を認めたる時は假借なくこれに斷乎懲罰を加ふるは元より是認すべきでありますが、然しながらこの懲罰は眞に正直勤勉なる者によつて揮はるべき大愛の鞭でなければなりませぬ、肉身の愛の鞭は苦しきも膝下には兒女泣けども笞を潛つて親の懷に這入ります、官に在りて大衆に接する者常に懷愛垂範に努むると共に胸中大愛の心を蓄せねばなりませぬ、終始武斷政治を以て大衆に臨む日なほ半島大衆追慕の的たるに反し、灑洒たる現代吏僚中却つて大衆より怨嗟を受くる者の少からざるは果して何を物語るでせうか、本總督は庶政に臨む諸官に對し重ねて吏僚勤勉にして民人に接するに大愛を以てせられむことを望みます、特に二千四百萬大衆の皇國臣民化を指導して皇國臣民一心の完成に寄與し、仍て以て大東亞戰完勝に貢獻すべき重責に在る諸官に對し、新年と共に覺悟を新たにして一段の自重を加へられんことを切望して已みませぬ

總督府御用始式…訓示する小磯總督

政始の御儀

【東京電話】輝く年頭に際し萬機の政を聞召される初めの御儀として　天皇陛下には四日宮中東一の間において政始の御儀を嚴かに執行せられた、この朝東條首相以下各國務大臣、松平宮相、原樞府議長などは禮裝に威儀を正して相ついで參內、出御を御待ち申上ぐるうち午前十時畏くも　天皇陛下には松平式部長官御先行申上げ木戸內府、百武侍從長、蓮沼侍從武官長らを随へさせられて出御、玉座につかせ給へば東條首相は恭しく御前に參進、まづ神宮のことを奏し奉る、ついで松平宮相進んで宮中の御祭祀のことを奏上　陛下には天機御麗しく入御あらせられ、こゝに政始の御儀を滞りなく終へさせられた

獨軍、舊臘掉尾の大活躍

【ベルリン一日同盟】獨軍當局では一月一日の兩日にわたる獨空軍の年掉尾の大活躍について次の通り報道した、獨空軍は三十一日急降下爆擊機の大編隊をもつて北氷洋戰線に出動し赤軍の要港ムルマンスクを急襲し同港の船舶を沈めて大損害を與へた、獨空軍はさらにムルマンスク鐵道の諸施設ならびにコラ灣西方の赤軍陣地を爆擊多大の戰果を收めて歸還した　この戰鬪において獨軍追擊機は赤機八機を擊墜した

一、東部戰線南部地區では獨空軍は三十日赤軍戰車の大集團に果敢な攻擊を行ひ獨軍陣地に接近し來つた赤軍戰車多數に對して低空爆擊ならびに機銃掃射を加へて大損害を與へた

一、東部戰線中部地區では獨空軍戰鬪機ならびに急降下爆擊機は友軍の作戰を掩護して縱橫に活躍、同地區に赤軍大部隊を捕捉し殲滅的打擊を與へた、同地區における空中戰で獨軍メッサーシュミット追擊機は赤機十四機を擊墜した

徵兵制實施と志願兵
海田第一、上住第二陸軍兵志願者訓練所長對談

昭和十三年陸軍特別志願兵制度が實施されて茲に六年、徵兵制實施の前提といふ輝かしき榮譽を擔つた志願兵は、金鵄勲章の最高の光榮をかち得た李仁錫、李亨洙兩上等兵の武勲とともに內鮮一體の結實をゆく者として訓練所の内外にあつてその名譽を謳はれてゐるが、明十九年度からいよいよ半島同胞待望の徵兵制が實施され、さらに第一第二訓練所の增設をみるなど志願兵の持つ責務はいよいよ重い、徵兵制實施を明年に控へた今日といへども志願兵制度は最高の皇民錬成機關として意義は極めて大きい、本社では海田第一、上住第二兩訓練所長を囲んで志願兵制度實施より今日に至るまでの苦心、錬成の方法、訓練所の内容などに關し兩指導者の忌憚なき意見の開陳を願ひ更に半島の輩ともいふべき志願兵訓練の由來を闡明、來るべき徵兵制實施への階梯とする

血書の志願者
事變と共に沸る愛國熱

上住　今度重大なお役目を拜命致しましたが實はこゝは當地方の事情につきましては全く不案内で御座います、海田大佐殿には長年當地の師團司令部附とし御在任になつたので當地方の狀況もよく御存じの上かつは訓練所開設以來所長として種々御苦心をなさつて居られる御經驗をお持ちであると存じますので、つきましては後進を指導するといふ意味をもつて忌憚のないところを御教示願ひたいと思ひます

實施前の狀況

海田　今度第二訓練所が新設され所長として重大な御使命を帶びて就任され、誠にお目出度く同慶に存じます次第であります、私は何ら深い識見も持ちませず、特に御參考になるやうなことも持ち合はせませぬが、こちらに長くゐましたといふ故を以て大體今までやつて參りました經驗を申上げて今後は相ともに緊密協助を御願ひしまして兩訓練所を當局の希望通り進展させて行きたいと念願致す次第であります、では私の今日まで經驗した點を申上げることに致します

今お尋ねの志願兵制度實施前の狀況についてですが、本制度を實施する前には學校配屬をしてゐたり、あるひは部隊附をしてゐたので社會の事情には極めて暗かつたために適切な觀察もなく、いたつて資料に乏しいのでありますが、昭和十、十一年ごろから、時局その他の關係上半島の有識者間に於いても、本件に關するところの機運が擧げてゐたのであります、當局においても、事朝鮮統治上の重大な問題である處から、極めて愼重なる審議を以て進められたのでありました、またわれわれがみるところでも當時は一般に時局認識が薄かつたのでありますが、滿洲事變に引續いて支那事變の勃發、かくて事變の擴大につれて、一般半島人の銃後活動が極めて活潑となつたさうして一部青年の間には熱烈なる從軍志願者が出てきたのです、確か昭和十二年の末だつたと思ひますが、一般民間から約六百名の從軍者が出た、しかも愛國的な熱情が日一日と昂まつて、一般民衆の間にも國防獻金とか或は出征兵士の歡送迎とか出征兵士の遺家族に對する慰問援助とか未だかつてわれわれが眼にしたことのないやうな赤誠がいたる處に見られて愛國の至情に關しては幾多內鮮一體の麗はしい事實が展開せられたのであります、以上が本制度實施前の狀況ではないかと思はれます

中堅青年採用

上住　早く日本の鄕土に入つてゐた古代の志願兵制度が朝鮮よりも溯れたといふことも、これ偏に半島同胞の忠誠心の現はれではないかと私は思ひます、合邦の[illegible]兵制はまだですね

海田　さうです、朝鮮が一足先に出來た譯です、志願兵制度は昭和十三年二月廿二日勅令第九十五號、附則は同十三年四月三日、これを施行したのです、四月三日神武天皇祭に施行されたのです

上住　お話のやうに神武天皇祭に施行されたことは、すべてにおいて日本は一大轉機をとつたと思ひます、勅令實施とともに直に志願兵を募集せられた譯ですか

海田　勅令が出てそれに伴ふ手續きが終るや直ちに募集して六月には入所させました

上住　應募者は相當學力の高いものを狙はれたのですか

海田　純なものを入所せしめ軍人として、また鄕黨の中堅人物を養成するといふことにあつたのです

上住　將來もさうなければならんと思ひます

海田　大體半島人は早熟で若者を持つてゐるものが多い、志願者はよいものを選ぶといふことから妻帶のあるものも許容することになりました、李仁錫なんかも妻があ りましたよ

上住　ではさういふ制度が實施せられ、追々志願兵も訓練を受けて軍隊に入營するやうになつたその間の一般社會への反響といふやうなものについてお話をきかせていたゞきたく思ひます

社會への反響

海田　この制度實施後の反響について、法令の出た前後から申して見ますと、支那事變の擴大に伴つて半島人の愛國熱は滿洲事變當時に比較してますます昂揚せられて來たのであるが、その時昭和十三年一月十日、半島人に對する志願兵制度實施が發表せられたのであつて、さらに先ほど申した二月廿二日勅令を以て陸軍特別志願兵令が公布せられたのであります　これは半島人の至誠が神に通じてこゝに偉大なる特權を與へられるといふ一視同仁の有難い聖恩を非常な感動をもつて迎へ早くも志願者はわれ/\と殺到し憲兵隊、師團等に殺到、或ひは總督、軍司令官にぢかぢかに申出で、中には血書を携へて直接警察署或は道廳に出頭するものも出るといふ熱烈な眞心にはその當時當局をして痛く感動させたものであります、總督府においてましては一方朝鮮教育令改正ならびに陸軍特別志願兵制度に關して諭告を發せられて今後半島の進むべき道を明かにせられ、なほ勅令に基いて種々規程とか手續の法令が四月三日發布されたのであります　その四月三日の神武天皇祭當日といふものは、全鮮に沸き上つた歡喜は、全鮮の神社、神祠への感謝の奉告祭となり、歡喜は祝賀行進となつて渦卷いたのであります、その祝辭とか讃辭、祝辭といふものが、鮮內は勿論內地、外地と各方面から陸續として當局に集つたと聞いて居ります

鮮語は許さず

上住　今お伺ひ致しましたことによつて當地方の民心が御皇恩に浴していよいよ皇國臣民たるの自覺に基いて根强い發奮が現はれたといふことは御同慶の至りと思ひます、私も支那にゐて戰線で矢張り當地方から來てゐる人をみましたが〝われわれは日本人なり〟といふ誇りが非常に强くなつたと思はれます、しかし鮮語を使つてゐる人間は絕對に認めることは出來ません

次にお伺ひしたいのは、制度そのものゝ趣旨と訓練所設立の目的、これは大體判り切つたやうなものですが、一應お示し願ひたいと思ひます

海田　制度そのものは既に御承知と思ひますが、朝鮮統治の政綱に基いて歷代總督過去約卅年の施政によつて半島同胞の皇國臣民としての自覺は漸次昂揚されて、國家に對する赤誠が熾烈になり、滿洲事變以來の國防思想の普及は目覺しいものがあり、延いて支那事變に至つては愈々昂まり、その方面に影響として現はれるといふ處からこの制度が設けられて、全く併合の一視同仁の有難い聖慮から半島青年にも國防の重任が課せられたのであるその制度に伴つて半島青年を直ちに軍隊に入れ得るかといへばそこには長年の傳統、風俗、習慣といふやうなものがあり且つ國語の普及も十分でなく日常の生活樣式においても內地のそれとは相當隔つたところがあるので、一應これらを訓練する必要がある

征戰完勝へ積極協力
對盟邦關係躍進せん

【東京電話】政府は大東亞戰爭第二年目の決戰段階に處し盟邦諸國と相携へて敵米英屈伏に邁進しつゝあり、既報二十日には汪國民政府主席の來訪があり、東條首相、谷外相、青木大東亞相と重要會見を遂げ日華提携强化につき完全なる意見の一致をみた汪主席は、さらに日本國民に呼びかけ國民政府は『同生共死』の決意をもつて大東亞戰爭完遂に日本と協力する旨の所信を表明、歸國後直ちに兩國首腦の間に意見の一致した線に沿つて日華協力の實際的措置を講じてあるが、時を同じうして去る十二月三十日重光駐華大使も南京中央政府各方面と緊密協議した成果を現地機關の具體的運營面に活かす段取であり、新春を期して日華關係は劃期的な展開を遂げるものとみられる

一方佛印派遣芳澤大使は過般來現地においてドクー總督との間に交渉を重ねて來た日佛印經濟協定問題ならびに米英の北阿佛領不法侵入による佛本國の立場に關聯する佛印の最近の情勢を齎して三十日入京約二ケ月振りで東條首相、谷外相、青木大東亞相らと會見、對佛印關係の諸般の協議を行ふ豫定で、今回の芳澤大使の歸朝により日佛印關係の明朗な進展が期待される、駐泰坪上大使も去る一日バンコック出發歸朝の途に就いたが大東亞戰爭勃發とともにわが國と同盟關係に入り軍事、政治、經濟の各部面にわたつて協力、去る十二月には日泰文化協定の批准書を交換した、泰國の對日關係は本年度に入つてさらに促進されるものと豫想され、駐日泰大使デイレツク氏の歸國と坪上大使の歸朝とは注目されてゐる、日泰協力態度は去る一日の東條首相に對する祝電に於て、二日汪國民政府主席、四日にはピブン泰國首相の挨拶が放送されることからも明かにうかゞはれる

かくて政府の大東亞共榮圈諸國に對する征戰遂行上の根本態度は新春を迎へて一段と力强く示され、これに對する中華、泰、佛印の對日協力態度は…

京鐵道御用始式

京鐵道廳の新年御用始式は四日午前十一時四十分より道廳第一會議室において高知事以下全職員參列の下に決戰道治の誓ひも固く行はれた

國民儀禮ののち高知事より道義を目標とし增產指揮に際しては總力決戰の意氣をもつて事にあたり、一方事務の刷新を圖るべきを訓示、終つて松本產業部長より全職員誓つて銃後における道義精神の昂揚と事務刷新に邁進もつて首班道としての指導役割に一歩前進せんことを誓へ正午式を閉ぢた

時の錄音

小磯總督、御用始式に烈々、決戰の決意を披瀝。
×
曰く修養錬成の徹底的實践、皇國民への錬成だ。
×
曰く生產戰力の決勝的增强、たゞ一つ戰力增强だ。
×
又曰く、庶政執務の劃期的刷新、卽ち吏道の刷新だ。
×
この三つの誓ひ、これこそ決戰三年の座右銘。
×
曰ら、その目指すところは、たゞ勝ち拔くことあるのみ。
×
屠蘇酒は既にのみ收めた。さあ、起て、勵め。

消息

◇中間高州氏（一銀京城支店長）四日東上、十二、三日頃歸城豫定

建築科講義錄　土木科講義錄　全二十四冊　一年修了　帝國工業教育會
銃後ノ護リ　眼ノ護リ　大學眼鏡店　京城本町二丁目
キング新年號　世界の戰局と大東亞戰爭　長期戰の實相を語る　南太平洋海戰從軍記　益子挺身隊奮戰記　新連載小說　御盾　山岡莊八　米英惡虐史　浮ぶ地獄　木村莊十　この外各種の讀物滿載　定價五十錢
女性ホルモン　ナポロン　女性生理痛の解消　月經障害　慢性頭痛　憂鬱倦怠　婦人科諸症　東京市神田區　大日本合名會社
新時代の榮養消化劑　アイオミン錠　發賣元 株式會社稻畑商店　大阪市
炎支管氣　たんせきぜんそく　龍角散　本舖 東京神田 藤井得三郎商店
最新除倦覺醒劑　新發賣　ヒロポン錠　製法特許　大日本製藥株式會社

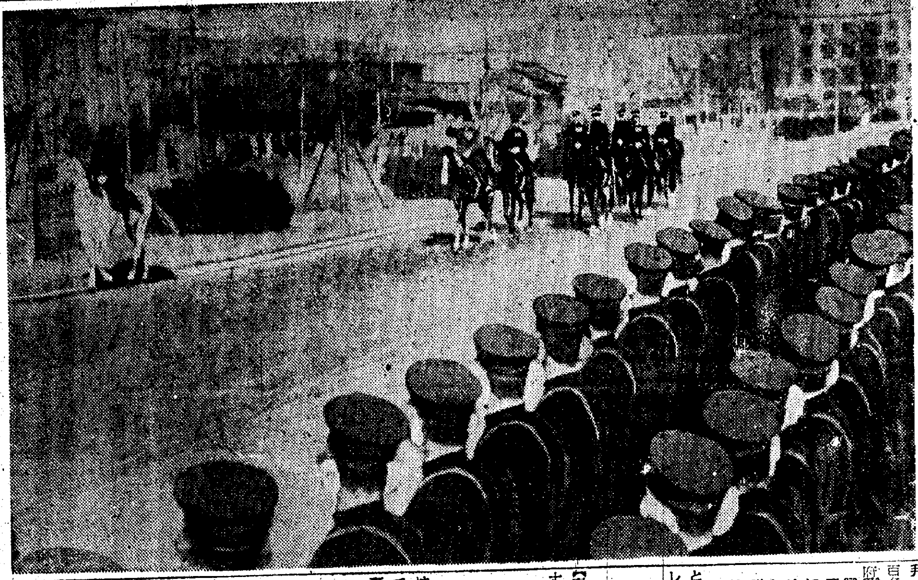
誓は固し治安報國

小磯總督臨席 京畿道警察訓練始式

新年、恒例の京畿道警察訓練始式は四日午前九時より朝鮮神宮大前において小磯總督臨席のもとに擧行され、大東亞戰下烈々たる銃後治安の第一線に任ずる京畿道管下の警察官はいづれも武裝に身を固めて整列、石川總指揮官の號令一下捧げ銃の中に恭々しく警察部長代理石川警務課長は大前に進みて玉串を奉奠、拜禮、半島の警察官を代表して愈よ決戰銃後の護りに勵む誓ひを奉告、終つて警察報國の誓旨に入り原田(代理)警察部長の宣誓文朗讀に續いて小磯總督より半島警察官の任務について明確な指標を與へまた第一線官吏として民衆指導の上にもたらすべき結果の重且大であるを告辭とし、次に高知事起つて同樣訓示を述べそれより稻田東大門署長の訓示に對する答辭があり同十時總督の發聲によつて萬歲三唱、それより隊伍堂々總督府前光化門通の觀閱式に向つて進發した

凛烈寒氣衝いて 總督府前の視閱式

銃後治安陣第一線に匪躬する警察官の士氣を昂揚すべく、警察官訓練始式は四日全鮮一齊に擧行されたが、半島の首都京城では午前十時半から道警察部はじめ府内の警察官を集め、凛冽膚をつんざく寒波を蹴つて決行された着劍武裝も凛々しく總督府前から光化門通へかけて整列した警察部以下七警察署の第一線警察官に對し、まづ總督官高京畿道知事馬上から觀閱を行ひ、引つゞき勇壯なる分列行進を行つた。指揮官の指揮刀一閃すれば、凛々と凍る大地をけつて、銃後治安の重責をがつちりと双肩に受け、いささかもゆるみなく醜翼を擊碎する決意を眉宇にひめて、凜しく前進する、かくて警察第三年目の訓練始式は同十一時半終了した



寫眞=總督府前の視閱式

京城府廳の御用始式

京城府廳御用始式は四日午前九時三十分から府民館中講堂に古市府尹、千田總務部長以下全職員千六百名參列擧行、國民儀禮の後古市府尹は

戰時態勢の擴充を要する新年を迎へ府政の全機能を擧げてこれに添はなければならぬが全職員は職場に在り上の固き信念のもと、勿論職員の增員などは不可能であるから應召者の分も引受けて一人で三人分の働きを覺悟して貰ひたい

と激勵、千田總務部長職員を代表して答辭を述べ同十時散式した

三月末目掛け 頑張る貯蓄戰

【東京電話】昨年十二月一杯で「五十億貯蓄强調運動」の目的をほゞ達した大政翼贊會ではその勢を延つて新春から三月末までの昭和十七年度内に政府の二百卅億貯蓄完遂特別計畫を實現するため新たな構想を樹てゝゐる、この新構想とは九月下旬以來大政翼贊會東京府市が實踐組相を陣頭に立てゝ東京市内卅五區内を巡歷街の人々と膝をつき合はせて貯蓄の懇談會を開いたがその結果は非常な成功を收め儲數は十二月中旬早くも賣切れといふ有様だつたので一月から三月末まではさらにこの懇談會を實行し目的貫徹に拍車をかけるといふのである、これがため東京市はじめ全國主要都市、農村、職場など地域、職域にわたり小範圍の集團毎に懇談會を集中的に開かうとするもので内容も『貯蓄の必要』を個別的に徹底的に相談しようといふのである、右について大政翼贊會國民運動部長は語る

翼贊會では十二月中五十億貯蓄達成運動に全力を擧げたがほゞ目的を達成した、しかしこれだけで氣を許すことは出來ない、例へば農業產業、自由職業者など重要な貯蓄源に對する手が充分に打たれてゐない、これをどうするか、近く大藏省や關係方面と協議して行きたいと思ふ、結局り自由勞務者の貯蓄については勞務報國會などと連絡して貯蓄するやう仕向けて行くつもりだ、要するに昔からの『餘つたから貯蓄する』の觀念を切替へて『貯蓄して餘つた金で暮す』といふ行方にならなければいけないと信ずる

戰ふ樂團 決戰新春の新事業決る

【東京電話】日本音樂文化協會では新春劈頭所屬各部門を總動員して戰ふ樂團人の意氣も高く左の新事業を行ふ

◇全國音樂教育指導者錬成大會◇

全國の國民學校音樂科教員ならびに音樂文化協所屬音樂指導員を一堂に集め、兎角技術面にのみ走り勝ちな音樂教育方法を錬成により改め、新しき日本音樂を樹立して次代を背負ふ國民に正しい音樂教育を授けこれを音感教育の面からも施して直接國防に役立たせようとするもので文部省、情報局の後援を得て新春一月を期し東京市麴町區有樂町の蠶糸組合中央會館講堂で長期間にわたり開催する

◇地方巡回演奏會◇

情報局、翼贊會の後援で去る十月東京交響樂團を東北地方各都市に派遣、生產擴充增强にひたむきに汗する地方民への心の糧を贈る運動は意外な好評を得たので、新春早々東海道地方各產業都市を約三週間にわたり巡回演奏する

◇國民音樂の樹立◇

國民音樂の確立のための作曲部員がそれ〲作曲を擔當『室内樂作品發表會』を隨時開催する一方本年度新進の演奏家の中から特に優秀な演奏家を選拔し『優秀演奏家推薦演奏會』を催してこれを廣く紹介、國民音樂樹立を期す一方音樂文協内に結成の京極子爵を委員長とする國際音樂專門委員會では情報局後援のもとに南方向けの音樂の技術を確立してどし〱日本音樂を輸出するとともに北、中、南支にも同樣働きかけ音樂共榮圈とは作品を通して音樂の交換をはかり行く〱は作曲家の交流をも行ふ、また映畫音樂改善委員會を設け映畫の中で立遅れの作曲音樂の向上をはかるため日本映畫協會と連絡選ばれた音樂家を映畫界に紹介する傍ら日本の提出を求めて適宜な作品を提供するなど映畫企業界に對し音樂映畫批評家が一丸となつて乘出す、尚文學報國會選定の愛國百人一首の作曲は文報、レコード文協と提携して比較的歌曲になり易い歌を十首選び五首は協會作曲部で推奬の作曲家があとの五首は五レコード會社がそれぞれ分擔作曲して演奏吹込歌曲による愛國百人一首の普及を努めることになつてゐる

ビルマ雜煮に祖國を偲ぶ

【ラングーン二日同盟】四周の戰前線地域ビルマも皇紀二千六百三年の新春は明けた、印度に強南に蘭々の武勳を誇る陸海軍も勇ましく初飛行を行つてラングーン上空を壓す、この朝軍司令部、軍政監部を初め各部隊、邦人商社戸口には門松が飾られビルマ雜煮に遠く祖國の新春を祝つた、軍司令部では嚴肅な皇居遙拜式を擧行飯田最高指揮官は將兵に對し訓示を行ひ『今次の戰爭は頑張りに耐へざるものが敗者となるであらう、この戰爭には盆日もなければ休日もない、われ〱は鬪志を昂揚し覺悟を新たにし一路敵米英擊滅に邁進するのみ』と力強く激勵した、一方ビルマ人の正月は一月一日で從來一月一日には何等の行事も行はれなかつたが今年からは日本の正月にあたり一定の行事を擧行することゝなり一日朝ビルマ行政機關の主催でローヤル湖畔の記念塔の下にトバマ・シンエサ聯盟および東亞青年聯盟の會員初め日緬官民多數參列して盛大な祝賀式を擧行、バーモ長官は『われ〱は最後の勝利を獲得するまで日本と協力邁進せん』と熱辯を揮ひビルマ人の決意を促した、次いで參會の全ビルマ人は次の誓詞を行つた

米英はビルマ、亞細亞の敵でビルマ人の自由を奪ひ奴隸とした、しかしてビルマの都市村落、僧院を破壞し婦女子、僧侶を殺戮したものは米英である、ビルマは最後の勝利を期して日本と共に進擊せねばならぬ、われ〱は進んで亞細亞の新秩序に參加せんとす

今や全ビルマ人はこの『勝利の土』の上に立つて嚴肅にこの宣誓をなす

マニラ日本人會武運長久新願祭執行

【マニラ二日同盟】皇軍マニラ入城一周年記念日の二日午前十時からマニラ中部ルソン日本會ではマニラ市パコン・ヒリピナス公園で皇軍武運長久祈願祭を執行、戰歿勇士の英靈を祀り一年前のこの日の感激を想起し、大戰完遂の決意を新にした、式後勇壯な分列式、觀兵式を行ひ正午からはマニラホテルで陸海軍將兵を迎へて祝賀會を催した、また午後二時半からマニラ南本願寺で英靈慰靈法要が行はれ比島戰線に散華した勇士の靈を慰さめ弔つた

榮光の徵兵制へ 若人よ今こそ起て

新春に丹下警務局長の激勵

光輝ある昭和十八年、いよ〱戰の必勝決意とともに、半島の津々浦々にはいよ〱明十九年から光榮の徵兵制が實施さるゝのだ、感激みなぎる新春の曙光それは半島若人の前途を祝福する曙光ではないか、徵兵制實施準備委員會委員丹下警務局長はこの大いなる朝、半島の徵兵制をいよ〱明年に控へて『半島の若人よ今こそ起上れ』と激勵、次のやうに覺悟錬成を促した

『私は』去る年に一兵卒として出發の郷々たる愛國の魂にうたれてこの輝かしい新春を迎へたのである、それは或る駐在所の主席巡査から私へ報告してきた或る兵補で現役兵訓練所助手の最近の心境である

『今こそ内地とか朝鮮とか細いことをいふときではなくなつた今大東亞國日本が遂げつゝある世界維新に皆が力を合せて聖戰に邁進する、この大きい目標の前に協力一致して大東亞共榮圈を打ち樹てゝ行く、そして今こそ心と心とを結び合せて渾然一體となり奉公する、これ即ちわれら御民、幸福への唯一の道である』

『切々』胸を衝くこの述懷はかつて世話になつた或人に一兵卒が寄せた心境になり切ることである、學問が出來、腕力が上手で、いくら頭がよくても精神即ち國體本義の徹底に缺けてゐてはせつかくの徵兵の光榮に浴することができないであらう、半島光榮の徵兵制はいよ〱明年に迫つた、半島の若人は起たねばならぬ、如何なる艱難をも惜まずしていまこそ起ち上るのだ、半島百年の重責は諸君の双肩にかゝつてある、いまからでも遲くない、日本精神を體得するのだ、そして榮えある戰列へ馳せ參ずるのだ

『誰も』徵もがさきの恐懼兵出壯者のやうな選民であつて、それよりも最も中核をなすものは特別青年訓練などが進められてゐるが、これは徵兵制への間接的な準備となるものであるが、私はもつともだと思ふ、徵兵制を眞に明年に控へて半島全部の人は一人も殘らずこんな郷々たる皇國民にならなければならない、光榮ある徵兵制めざして既に戸籍の整備も

けふの市況

株式 花形株は凋落 決戰體制下の初立會

皇軍の赫々たる大戰果の下に大東亞戰爭の第二初立會を迎へて株式は昔日の投資投機としての地位から事業界の決戰體制といふ大使命から今日程その役割がはつきりと顯現してゐる時代はない。新取引所が發足すれば市場花形株である新東、大新は三月末で上場廢止される實質的にはけふの大發會を契機に市場から脫落する、そして投機的な値動きを目當にする時代は過ぎたのである、この意義を反映したとでもいふか市場花形株は昔日の面影なく凋落の一途を辿りつゝある、即ち短期新東は八十二圓と二圓方下放れてあと一圓丁とまたく新安値を示現、大新四十三圓五十錢と五十錢安、新鐘七十二圓六十錢と一圓九十錢方低落、あとトピ六十錢とこれ亦新安値を更新、高周波五十二圓と一圓方押した、三菱重工新は堅張安にも拘らず五十三圓五十錢と五十錢方引締めたのは注目された、なほ實物は概ね變らず乃至は若干興含みを示し實氣不引立ちであつた、後場休會

戰時經濟の理念に徹せよ

荒井朝取理事長談

大東亞戰爭開始以來早くも戰捷に輝く第二年目の新年を迎へ、まして茲に初立會を行ひますことは御同慶の至りに存じます

この體制完遂のために總ての經濟機構が新體制を以て律せられ何れの業界も既にその實現をみたのでありますが、わが取引所も亦客臘改革案の要綱が發表せられましたことは御承知の通りであります、本法案が今次議會を通過しこれが實行に移されるのは恐らく八、九月頃かと想像されますが、新に生れる有價證券取引所は一層公共機關たる色彩が濃厚となり、取引員も取引所藩籬より離脫してその負荷さるべき使命、即ち國家經濟の運營に寄與する理念が强調せられてゐます、然らばそれまでの間はどうでも構はないかといふ考へ方は決して國家に忠なる所以でありません、やはり國家の要請に卽應し今日只今から前述の理念に基いてその重大なる職責を全うするやう互に努力精進すべきであらうと存じます

如何に制度機構が立派に整ひましても、これが運營する各自の態度がこれに副はなければ所期の目的を達成することが出來ません、まして改革案なるものもまだ細目の發表がありませんから種々不明瞭な點が多いのですが、改革の結果萬一株式の流通及金融を梗塞し或は會社企業の將來に暗影を投じ延いては刻下喫緊の生產力の擴充增强に障碍を與ふることのないやうに角を矯めんとして牛を殺すが如き謬りのないやうに致し度いものだと念願してゐます

株式(四日)

朝取短期(前場)

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
川崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝機械	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 一二・〇〇分

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	逆日步
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
弘中	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周	[illegible]	[illegible]	[illegible]
短期	[illegible]	枚 累計一四六・〇四〇枚	

大株短期(前場)

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	一節	二節	三節	引
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
チツソ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日産新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期(前場)

銘柄	寄付	大引	高値	安値
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 一〇・五〇分

東株短期(前場)

銘柄	寄付	大引	高値	安値
高周波	[illegible]		三重工	[illegible]

(第一部)

銘柄	寄付	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

(第二部)

銘柄	寄	中	引
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小倉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麥酒新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塩水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 一〇・五九分

東株短期喰合

銘柄	賣	買	取組高
東新	—	—	
鐘新	—	—	

大株短期喰合

銘柄	賣	買	取組高
東新	—	—	
鐘新	—	—	

商品(四日)

〈横濱生糸〉	一節寄	二節引	
前場當限	—	—	休
先限	—	—	休

鮮銀帳尻(廿八日)

發行高 [illegible]

後三國志 出師の卷 (42)

(吉川英治作)(矢野橋村繪)

多將軍 (二)

事もできない。身には幾すじも矢を負ひ、馬は石に中つて斃れた。槍は盡き、眼はかすみ、

『いまはこれ迄』

と、自ら首を刎ねて死なうとした。

呉の大將馬忠は、そのとき馬を飛ばして、砂塵とともに駈け下つて來た。それを知るや黄忠は、

『死出の道づれには、望むところの敵』

と、斷末魔の男を鼓して、馬忠のまへに幽鬼の如く立ちふさがつた

『そのやうな白髮首をまだ惜むか』

馬忠の突いてくる槍の柄にしがみついて、黄忠は離れなかつた。そのうちに四方の呉軍が何事か騷ぎ出したので、馬忠はいよいよ持て餘し、却つて、老黄忠のために槍を奪はれ、その槍でりう〱と突きまくられた。

關興、張苞のふたりは、この山間に黄忠が追ひ込まれてゐるのを漸く知つて、それを救ふべく、これへ急馳して來たのである。馬忠は身の危險をさとると、遂に手を捨てゝ谷ふところへ逃げ去つてしまつた。

『老將軍。もう御安心下さい』

耳元で云はれたが、黄忠はそれから後の事は何も覺えなかつた。

彼が氣づいてみたときは、味方の陣中に安臥して、關興や張苞の手で看護されてゐた。

いや、誰かうしろで、自分の背を撫でてくれる人があるので、首をこちらへてふと振向いてみると、それは帝玄德だつた。

『老將軍。朕が過ちをゆるしてくれよ』

『呀……』

と愕いて、黄忠は起き上らうとしたが、夥しい出血と老衰とに、たゞ苦しげな喘えをその表情に見せるだけだつた。

『否とよ陛下。……陛下のやうな高德な御方のそばに、七十五歲のこの年まで、久しくお仕へすることができたのは、實に人と生れた冥加この上もありません。この命、何で惜むに足らん。たゞ、龍體を守らせ給へ』

いひ終ると、忽然、息が絶えた。陣外には、白天地の夜を、吹雪が吹き荒れてゐた。

『あゝまた一虎は逝いた。五虎大將軍、すでに逝くもの三人』

成都へ彼の柩を送るの日、蜀帝は轜車に立つて灰色の雲空を長く仰いでゐた。

『かくては』

と、玄德は自ら心を勵まし、御林の軍をひきゐて、凍る帝旗を進めた。號亭(湖北省・宜都の西方)まで進めた。

はからずもこの附近で、呉の韓當軍と會戰した。張苞は韓當の一の部下夏恂を打殺り、關興は周泰の弟周平の首をあげた。帝はこれを賞めて、

『虎の子に、犬の子なし』

と、手を打つて感嘆した。

一戰一進、蜀軍は屍の山を越え血の流れを渡つて進んだ。帝座の傘蓋まで、ことごとく凍つて、水晶の珠簾が揺ぎ進むやうだつた。

呉の水軍を統率してゐた甘寧は建業を立つてくる時から體がほんとでなかつたので、冬に入つてはいよいよ持病に悩み、味方の頽勢を救ふべきものがあつたが、ぜひなく陸上軍の退却とゝもに彼も江岸を舟に乗つて落ちて行つた。

すると途中、待ち伏せてゐた蜀軍の南蠻部隊が、いちどに起つてこれを猛襲した。彼の軍はその大半以上が船中にあるので、從へてゐた部下は極く少數だつた。それに蠻軍の大將沙摩柯の勇猛さはまるで惡鬼か羅刹のやうだつたので殆ど、生き殘る者もないほどな大殺戮に遭つてしまつた。

甘寧は、病軀のうへに、沙摩柯の射た矢に眉を射られ、富池口(湖北省・公安の南)までひとり逃げたが、最期を覺つたとみえて馬を大樹の下に捨て、その樹の根元に坐つたまゝ、つひに落命してゐた。

二月に入つた。

號亭方面ではなほ激戰が繰返されてゐた。蜀軍の兵にはもう必勝の信念がついてゐたし、呉兵には戰へば必ず負けるものといふ臆心がこびりついてゐた。

ところが、その日の戰ひに、全軍凱歌して、引揚げて來たのに、どうしたのか、夜に入つても關興だけが一人歸つて來なかつた。

『見て參れ。氣がゝりな』

と、帝は張苞にもいひつけ其他の將にも、手分けして探せよと命じ、深夜まで眠りに就かなかつた。

京日特選 高段者勝拔戰

第十局(圖は前局9九角迄)

平手 七段 先△宮松關三郎 六段 ▲飯塚勘一郎

持時間 各六時間 消費時間 (△二、三〇分 ▲四時四分)

▲同 玉 △2八飛ナル ▲8八歩 △7六角 ▲6七角 △同 龍 △同 金 △8七歩

木村名人講評

先手九八目玉はこの一手。次で後手六七同龍は過激な様だが絶對的である。これを七五龍なら六九角の逆襲が厳しい。譜の八七歩で明らかに勝勢である。

母子榮養 錠劑わかもと

錠劑わかもとはお母樣がお服みになりますだけで母体を强化しお乳の出と質を良くして赤ちやんを丈夫に育てます(一日一錠)

淋毒を取る…… 珍らしい黒焼王劑!

◇…慢性や急性の淋病に悩む人々に福音をもたらす珍らしい黒焼王劑『大役治淋散』が公開さる。この藥は自宅で簡單に服藥するだけで淋病の病毒である淋毒を吸出し大便や小便に混入して排除される實に驚いた新藥であり然もその効果が確で副作用がないのが特徴である。永年の淋病にて困る方も是非試されよ。詳しい說明書は左記へ申込次第送呈さる。

金澤市東馬場 田村天牧堂

朝鮮取引所 一般取引員 北川俊一商店 京城府黃金町二ノ一九九 電話本局(2) 3536・4907番 6634・7081番 電信略號 (キタ)(キ)ハ又 (ヌカメキウセイケ)

決戰新春 米英擊滅 證券報國 皇紀二千六百三年元旦 安東證券株式會社 京城府黃金町二ノ一九九 電話本局(2)四一六七

テイチク名人浪曲 長篇浪曲傑作盤 虎造 石松若き日 雲月 軍國父歸る 羽衣嬢 皇軍來る 雲 木曾川柳 寶童 劍聖二代 秋水 和歌山騷動 照子嬢 夜霧の港 友衛 娘武士道 米若 香港最後の日 聖戰の花 赤穗浪士傳 清水次郎長傳 清水次郎長外傳 豪商紀文傳 塩原孝子傳 水戸黄門漫遊記 10枚 12枚 24枚 12枚 12枚 12枚 合枚 木若・友衛・虎造 寶童・雲月 虎造・友衛・米若 虎 鶯 友 秋 水衛 寶造 造 童月

クロバー 高級 口紅 ホゝ紅 この健康色が 生きた健康美 をつくる…… 大阪・三葉商會・東京

ニキビが取れて色白くなる 白黒ニキビやニキビ跡の惡色、凸凹やお困りの方は愛知縣名古屋市西ノ町二九ノ一 日本國藥研究所、ニキビ部へ書送れと御申込になれば詳しい說明書を無料で至急に送つてくれます

賀南進之春 元旦 朝鮮取引所 一般取引員 白井友之助商店 京城黃金町二ノ一九九 電話本局代表二一二六番

朝取一般取引員 有價證券現物賣買 山本源作商店 京城府明治町一丁目 電話代表②五一九一番 滿洲山源證券株式會社 奉天加茂町八號

株式會社 短期現物取引 東亞證券 朝取一般取引員・京城黃金町二丁目・電話代表本局五一一六

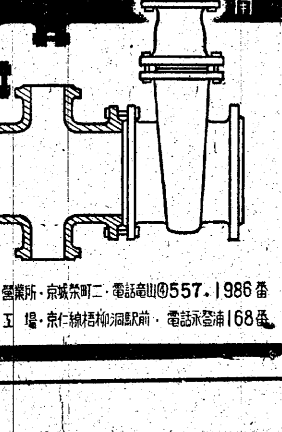
京城 都藥房の藥 價藥 二圓・四圓 一割・八圓

世に誇る獨特秘藥 急性慢性を問はず如何なる惡性の淋疾でもたつた四五日間の内服にてしかも何等副作用なく完治の目的を達せられる尚婦人科疾患(帶下症冷症)にもすばらしい偉効を發揮し皆樣の絕大な御賞讚を賜はる。

京城驛前 合資會社 都藥房 (支店所在地) 奉天市惠工街四段五〇 北京市外四區米市胡同甲五一號 天津日本租界花園街一一九

頑張れ!敵も必死だ 株式會社 一宮組 社長 一宮近藏 京城府黃金町一丁目一八〇番地 電話本局(2)三六六三番

高級 鑄鐵異形管 及 制水弁類 京畿道土木課 京城府 仁川府 御用 鮮内各水道



下川鑄工所 營業所・京城榮町二・電話龍山④557・1986番 工場・京仁線梧柳洞驛前・電話永登浦168番

健全ホルモン ヘミストロン 注射劑

謹賀大東亞之春 さあ二年目も勝ち抜くぞ! 科學する 勉強漫画展 主催・大阪毎日新聞京城支局 後援・國民總力朝鮮聯盟 四階催場 五日―十四日 新春のおもちやと人形 六日……十七日 五階催場にて 京城 三越

のんで力となり附となる 蔘精